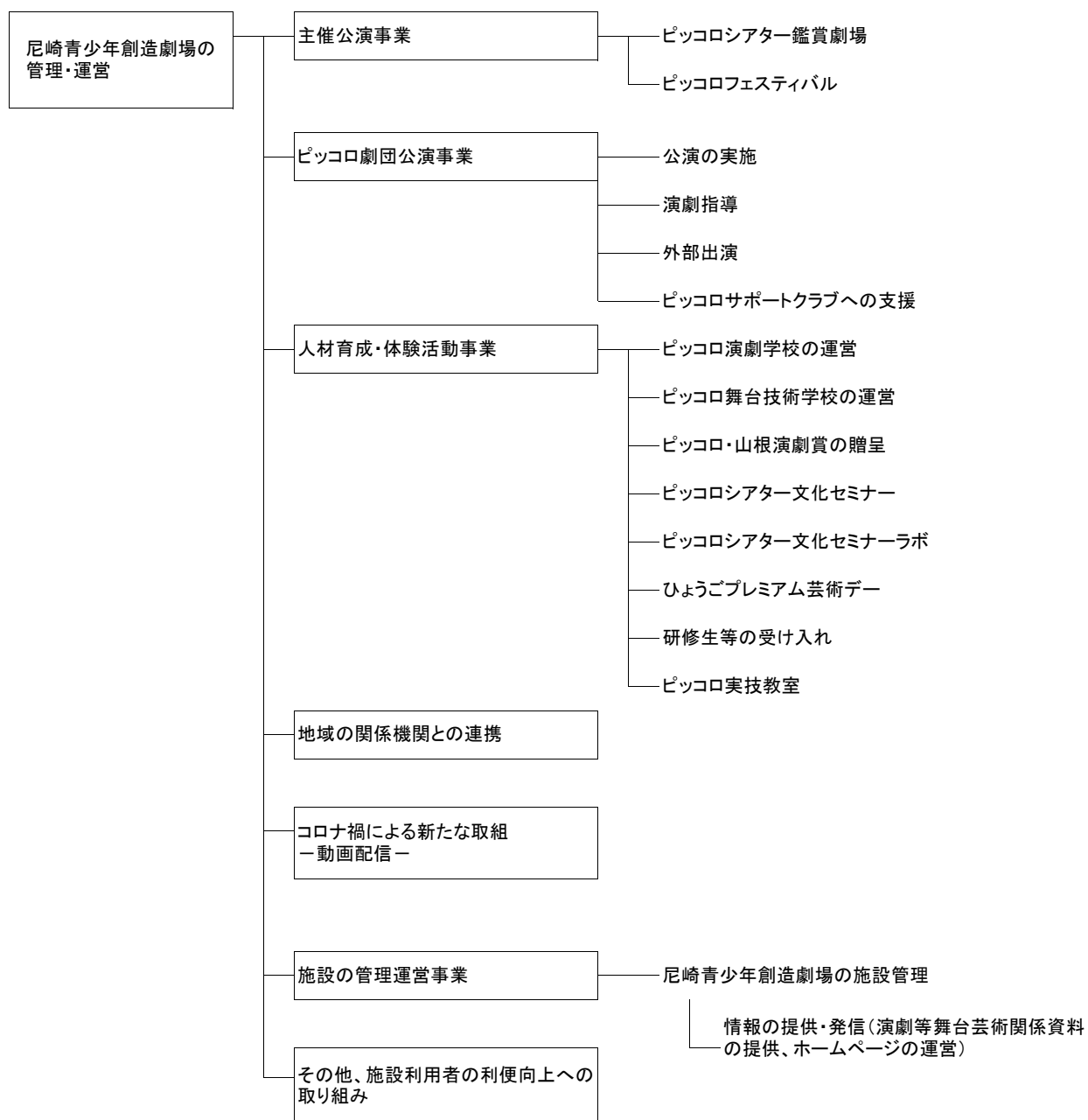


令和4年度 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 事業体系表



〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場（8公演：2,266人）を開催するとともに県民参加型イベント「ピッコロフェスティバル」（36団体：2,685人）を開催した。

- （1）シアタースタート 民族芸能アンサンブル若駒「はるなつあきふゆ あそぼあそぼ」（9月）
※0～3歳児と子育て中の保護者などを対象にした劇場体験事業
- （2）文学座「欲望という名の電車」（11月）
- （3）ピッコロ寄席 桂米朝一門による5公演（5月～3月）
「桂ざこば一門会」、「桂枝雀一門 桂文之助の会」、「桂吉朝一門会」、
「桂米團治独演会」、「子どもと楽しむ落語会」
- （4）紙芝居と音楽とのコラボ企画「生演奏で紙芝居 グッドガールシンシア」（9月）

2 ピッコロ劇団事業等

多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場、わくわくステージなど54公演：10,301人）を開催するとともに、劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを実施した。

- （1）本公演
「三人姉妹」（7月）作＝A. チューホフ／翻訳・演出＝島守辰明（ピッコロ劇団員）
「から騒ぎ」（10月）作＝シェイクスピア／翻訳＝喜志哲雄〈岩波文庫刊〉／演出＝鶴山仁
「三文オペラ」（2月）作＝ブレヒト（谷川道子訳）／台本・演出＝松本 修（MODE）
- （2）ファミリー劇場
「飛んで 孫悟空」（8月～12月）作＝別役 実／演出＝平井久美子（ピッコロ劇団員）／音楽＝橋本 剛
- （3）ピッコロ・わくわくステージ（5～6月、12月）「飛んで 孫悟空」
※中学生向けピッコロ劇団舞台公演鑑賞体験事業 35校 3,880人が鑑賞
- （4）おでかけステージ（10月～11月）
「タラレバ幽霊とタカラの山」原作＝谷口雅美・原 竹志（ピッコロ劇団員）／演出＝原 竹志
※観劇機会の少ない子どもたちの演劇鑑賞体験事業（県内小学校体育館等での上演）
- （5）演劇の指導・ワークショップへの派遣（派遣数：60回）
- （6）鑑賞サポート 音声ガイド付き公演（3公演） 字幕付き公演（3公演）

3 人材育成・体験活動事業

- （1）ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営
演劇学校 本科（15名修了）、研究科（21名修了）、舞台技術学校（22名修了）
- （2）文化セミナー（1回）、文化セミナーラボ（3回）（6月～1月）
渋谷天外さんに聞く（俳優、松竹新喜劇代表）「上方喜劇の魅力」（286人）
- （3）ひょうごプレミアム芸術デー（7月）
特別イベント「演劇公演の舞台裏を見てみよう！」～舞台制作の流れと舞台技術を体験～
- （4）ピッコロ実技教室（7月～8月）
「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみる〉」、「ちやっと！狂言～入門編～」（8月）、「演劇ワークショップ「40歳からのワンコイン演劇講座」」（8月）、「ピッコロオペラ教室 「オペラの楽しみ方」」（8月）
- （5）研修生や県立芸術文化観光専門職大学（3名）等の受け入れ

4 施設の管理運営事業

【ホール等利用実績】

区 分	利用者数（人）		利用率（％）	
	3年度	4年度	3年度	4年度
計	58,300	76,849	84.0	89.5

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（評価）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

- (1) 鑑賞劇場で出演者が濃厚接触者または感染者となり公演を延期したケースもあったが、ピッコロフェスティバルを含め予定通りの事業を実施することができた。一部で大入りとなる公演があったものの、コロナ禍の中、依然として観客の観劇心理が完全に回復するには至らず、令和4年度の入場者は、2,266人となった。(R3 2,192人)
- (2) 鑑賞劇場入場者のアンケートでは、満足度（「とてもよかった」「よかった」）は、演劇 87.4%、音楽 94.7%、伝統芸能 85.3%と高い評価を得た。

2 ピッコロ劇団事業等

- (1) コロナ禍の中、出演者の感染もあったが、代役対応によりすべての公演を実施することができた。令和4年度の入場者は、10,301人となり回復の兆しが見られる。(R3 7,553人)
- (2) 観客アンケート調査での満足度（「とてもよかった」・「よかった」）は、本公演で 93.2%、ファミリー劇場公演で 99.1%、わくわくステージで生徒 93.5%、教員 93.3%と高い評価が得られた。また、わくわくステージの生徒アンケートでは、「また演劇を見たい」との回答が 88.3%となり、演劇文化の裾野の拡大に寄与することができた。
- (3) 第74回公演「から騒ぎ」は、二極的な価値観やフェミニスト的な視点からシェイクスピア劇にすぐれた現代的な解釈を施した点が評価され「十三夜会 十月月間賞」を受賞した。また、檜村千晶劇団員がオフシアターVol.38「月光のつゝしみ」での演技が評価され、第25回関西現代演劇俳優賞（2022年）を受賞した。
- (4) 聴覚・視覚障害者への鑑賞サポートや在日外国人を対象とした全国的にも珍しいワークショップ、特別支援学校と劇団員が一体となって行ったオリジナル公演等など、当劇場がこれまで取り組んできた社会包摂事業が高く評価され「2022年度日本アートマネジメント学会賞」を受賞した。鑑賞サポートと外国人を対象としたワークショップは先導的な取り組みとして、大学やシンポジウム等での講演依頼があるなど全国的にも注目されている。

3 人材育成事業・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営は、公立劇場では全国初の取り組みであり、これまでに、演劇学校本科 1,267名、同研究科 758名、舞台技術学校 844名の計 2,869名の卒業生を輩出している。令和4年度もコロナ禍の中、58名の人材を輩出し、卒業生の中には、劇団や舞台制作会社などに就職する者があるなど、地域文化を担う人材育成に貢献した。(満足度調査結果：演劇学校本科・研究科 100%、舞台技術学校 94%)
- (2) 令和4年度から、舞台芸術の魅力を掘り下げて取り上げる文化セミナーラボを本格的に開催した。公演に付随する音楽を掘り下げるなど新たな切り口により、初めてピッコロシアターに來られたお客様を開拓するなどの成果を上げた。(観客アンケート調査での満足度 100%)
- (3) 令和4年度から、県立芸術文化観光専門職大学の劇場プロデュース実習1として3名の学生を10日間受け入れ、連携を深めた。

4 施設の管理運営事業

- (1) 令和4年度の利用者数は、76,849人と前年度の 58,300人から約 32%増加し一定の回復傾向が見られるが、コロナ禍前の約 60%にとどまっており本格的な回復には至っていない。利用率は概ねコロナ禍前の水準に戻っており、引き続き、安全・安心な劇場運営を行うことで利用者数の回復に努めていく。
- (2) ピッコロシアター満足度調査(R4.11.1~12.28実施)では、開館時間で利用者の 80.2%、施設サービスで 82.6%、清潔さで 94.2%、スタッフで 92.6%、施設全体で 91.7%が「満足」又は「大変満足」と回答しており、利用者からは概ね高い評価を受けている。

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

1 主催公演事業

（1）ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽（室内楽）などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。

また、子どもと大人が一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※ ピッコロ劇団員	入場者数 (人)
ピッコロ寄席 「桂ざこば一門会」 (大ホール)	4. 5. 14	出演＝ざこば、塩鯛、米紫、 ちょうば、りょうば	248
ピッコロ寄席 「桂枝雀一門 桂文之助の会」 (大ホール)	4. 8. 13	出演＝南光、文之助、まん我、 りょうば	286
生演奏で紙芝居 「グッドガール シンシア」 (小ホール)	4. 9. 3	紙芝居 作・画＝風太郎※ 朗読＝吉江麻樹※ 音楽・演奏＝川端裕美（フルート）、大竹秀晃（パーカッション）	52
シアタースタート 民族芸能アンサンブル若駒 「はるなつあきふゆ あそぼあそぼ」 (中ホール)	4. 9. 30 (2公演) (注)	作成・演出＝つげくわえ 出演＝民族芸能アンサンブル若駒 4. 5. 7(土)から延期して実施	64
文学座公演 「欲望という名の電車」 (大ホール)	4. 11. 12 13 (2公演)	作＝テネシー・ウィリアムズ 演出＝高橋正徳 出演＝山本郁子、鍛冶直人 ほか	680
ピッコロ寄席 「桂吉朝一門会」 (大ホール)	4. 12. 17	出演＝あさ吉、吉弥、よね吉、 佐ん吉、弥っこ	304
ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」 (大ホール)	5. 2. 5	出演＝米團治、雀五郎、米輝、 浅野美希（三味線）	387
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	5. 3. 11	出演＝吉弥、吉の丞、弥っこ、 浅野美希（三味線）	245
合 計 8事業			2,266

(注) シアタースタートにおける公演日の変更について

5月7日（土）に予定していたが、出演者が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になったため、9月30日（金）に延期して実施した。

(2) ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1カ月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者等の演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、その鑑賞等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催した。

時期：令和4年8月2日（火）～8月28日（日）

場所：ピッコロシアター各ホール

区分	部 門 等	参加 団体	出演者数 参加者数	入場者数 (人)
県民参加 企画	小・中・高校演劇	7	171	562
	大学演劇・一般演劇	3	50	125
地域団体 連携企画	バリアフリーコンサート	8	91	24
	人形劇フェスタ阪神	12	112	126
	令和の演劇向上委員会	1	5	128
体験企画	まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	—	3	20
	40歳からのワンコイン演劇講座	—	1	22
	ちょっと！狂言～入門編～	1	4	22
	オペラの楽しみ方	—	1	76
特別企画	ピッコロ寄席 桂枝雀一門 桂文之助の会	1	3	286
	ピッコロ劇団ファミリー劇場公演 「飛んで 孫悟空」	1	19	670
協賛企画	エデュケーションワークショップ 「D I E コース in 関西」	1	4	9
	関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演	1	10	141
計		36	474	2,211

2 ピッコロ劇団公演事業

尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアター等での演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設 立】平成6年4月1日

【劇団代表】岩松 了（劇作家・演出家・俳優）

【客 員】鵜山 仁（演出家＝文学座）、
喜志哲雄（京都大学名誉教授）、
杉本了三（演劇プロデューサー）、
内藤裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）

【劇 団 員】35名（男19名、女16名）（R5.3.31現在）

(1) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小・中学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※はピッコロ劇団員	入場者数 (人)
オフシアターVol. 38 「月光のつゝしみ」 (中ホール)	4. 4. 8 ～10 (5公演)	作＝岩松 了 演出＝眞山直則 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	388
わくわくステージ (5～6月期) 「飛んで 孫悟空」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	4. 5. 25 ～6. 3 (9公演)	作＝別役 実 演出＝平井久美子 (※) 音楽＝橋本 剛 出演＝ピッコロ劇団員	2,095
わくわくステージ (12月期) 「飛んで 孫悟空」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	4. 12. 2 ～9 (7公演)		1,785
ファミリー劇場 「飛んで 孫悟空」 (大ホール)	4. 8. 6 ～7 (4公演)		670
ファミリー劇場 「飛んで 孫悟空」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	4. 12. 24 ～25 (3公演)		894
第73回公演 「三人姉妹」 (中ホール)	4. 7. 16 ～27 (12公演)	作＝A. チェーホフ 翻訳・演出＝島守辰明 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	933
第74回公演 「から騒ぎ」 (大ホール)	4. 10. 6 ～10 (6公演)	作＝シェイクスピア 翻訳＝喜志哲雄 (岩波文庫刊) 演出＝鶴山 仁 (文学座) 出演＝ピッコロ劇団員	1,028
おでかけステージ (小学校公演) 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (小学校体育館等)	4. 10. 29、 11. 2、10 (4公演)	台本＝谷口雅美／原 竹志 (※) 演出＝原 竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員	952
第75回公演 ピッコロシアタープロデュース 「三文オペラ」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	5. 2. 17 ～19 (5公演)	作＝ブレヒト (谷川道子訳 光文社) 台本・演出＝松本 修 (MODE) 出演＝ピッコロ劇団員ほか オーディションにより関西俳優陣9名が出演	1,556
合 計 9 事業 (※)ピッコロ劇団員			10,301

(参考1) ピッコロ劇団員が第25回関西現代演劇俳優賞 (2022年) を受賞

俳優賞：樫村千晶 (平成16年度入団)

対象作：オフシアターVol. 38「月光のつゝしみ」での演技が評価された。

(参考2) 「から騒ぎ」が「十三夜会 十月月間賞」を受賞

受賞理由：二極的な価値観やフェミニスト的な視点からシェイクスピア劇にすぐれて現代的な解釈を施した点が評価された。

(参考3) 多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの実施状況

◆ 視覚障害のある方向けに音声ガイド付き公演を実施

(1) わくわくステージ「飛んで孫悟空」(4.12.9、大ホール)

(2) ファミリー劇場「飛んで孫悟空」(4.12.24、25、芸術文化センター阪急中ホール)

ピッコロ劇団員による音声ガイドの実施

台本作成：菅原ゆうき／ナレーション：吉江麻樹

◆ 聴覚障害のある方向けに公演の音声情報を字幕表示(舞台上で表示)

(1) わくわくステージ「飛んで孫悟空」(4.5.25、5.27、大ホール)

(2) ファミリー劇場「飛んで孫悟空」(4.8.6、大ホール)

ピッコロ劇団員による字幕の実施

台本作成／オペレーション：眞山直則、菅原ゆうき

(参考4) 各障害の特性や接遇方法等の理解を深めるためのバリアフリー研修を実施

開催日：令和4年5月27日(大ホール客席)

参加者：ピッコロシアター職員、ピッコロ劇団員 計20名

講師：ピッコロ劇団員 眞山直則、菅原ゆうき

内容：「聴覚障害者の特性と字幕づくりの工夫について」

(参考5) 日本アートマネジメント学会賞を受賞

当劇場が真摯に取り組んできた社会包摂事業(視覚・聴覚障害者への舞台鑑賞サポート、特別支援学校と劇団員が一体となって行ったオリジナル公演、地域社会になじめない外国人に対するコミュニティ参加支援等)が評価されたことから、第2回「2022年度日本アートマネジメント学会賞」を受賞。

(参考6) わくわくステージ参加校数等の推移

年度		公演数	参加校数	鑑賞者数(人)			年度計(人)
				生徒	教員 その他	計	
平成22年度		5	7校(公立5、私立2)	1,314	84	1,398	1,398
平成23年度		10	13校(公立8、私立5)	2,509	154	2,663	2,663
平成24年度		10	17校(公立11、私立6)	2,828	252	3,080	3,080
平成25年度		12	25校(公立18、私立7)	3,750	335	4,085	4,085
平成26年度	6月	8	13校(公立9、私立4)	1,972	159	2,131	5,238
	10月	8	13校(公立8、私立5)	2,926	181	3,107	
平成27年度	6月	10	19校(公立15、私立4)	3,272	212	3,484	5,711
	10月	8	15校(公立8、私立7)	2,091	136	2,227	
平成28年度	6月	12	32校(公立23、私立9)	3,136	286	3,422	6,041
	11月	8	16校(公立12、私立4)	2,446	173	2,619	
平成29年度	6月	11	31校(公立21、私立10)	3,074	276	3,350	5,976
	11月	8	14校(公立10、私立4)	2,447	179	2,626	
平成30年度	6月	14	36校(公立25、私立11)	3,692	329	4,021	5,660
	11月	6	13校(公立11、私立2)	1,477	104	1,639	
令和元年度	6月	12	29校(公立20、私立9)	3,075	391	3,466	5,728
	11月	8	23校(公立19、私立4)	2,088	174	2,262	
令和2年度	6月	—	(コロナ禍により中止)	—	—	—	1,602
	11月	10	21校(公立14、私立7)	1,466	136	1,602	
令和3年度	6月	8	8校(公立2、私立6)	846	85	931	2,365
	11月	9	14校(公立11、私立3)	1,311	123	1,434	
令和4年度	6月	9	18校(公立6、私立12)	1,942	153	2,095	3,880
	11月	7	17校(公立15、私立2)	1,634	151	1,785	

(注) 上記表には中学校以外の学校も含む。(特別支援学校、神出学園、山の学校、私立高校など例年数校程度)

(2) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することによる演劇ワークショップ等を県下各地で開催した。また、ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が通年で担当した。

指導先、指導事業名	劇団員	実施 年月日	実施場所等
ピッコロ演劇学校 本科	山田 裕 菅原ゆうき 杏華	通年	ピッコロシアター
ピッコロ演劇学校 研究科	島守辰明 堀江勇氣	通年	ピッコロシアター
兵庫県立宝塚北高校 非常勤講師	孫 高宏	通年	県立宝塚北高校
兵庫県立伊丹北高校 非常勤講師	吉江麻樹	通年	県立伊丹北高校
プール学院高等学校 非常勤講師	杏華 菅原ゆうき	通年	プール学院高等学校（大阪市）
大阪府立咲くやこの花高校 非常勤講師	木村美憂	通年	大阪府立咲くやこの花高校
【新規】四天王寺中学校 非常勤講師	山田 裕 檜村千晶	通年	四天王寺中学校（大阪市）
甲南女子大学 第三種特任教員	本田千恵子	通年	甲南女子大学
大阪芸術大学 非常勤講師	本田千恵子	通年	大阪芸術大学
近畿大学 非常勤講師	島守辰明	通年	近畿大学
クラーク記念国際高校芦屋 キャンパス 非常勤講師	中川義文	通年	クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス
大阪アニメ・声優&eスポーツ 専門学校 非常勤講師	中川義文	通年	大阪アニメ・声優&eスポ ーツ専門学校
ホスピタリティ ツーリズム専 門学校大阪 非常勤講師	檜村千晶	通年	ホスピタリティ ツーリズ ム専門学校大阪（大阪市）
ヒューマンアカデミー神戸校 非常勤講師	眞山直則	通年	ヒューマンアカデミー神戸校
【新規】エイベックス・アーティスト アカデミー大阪校 非常勤講師	原 竹志 眞山直則	通年	エイベックス・アーティス トアカデミー大阪校
児童劇団「リトル・ぐらん」 上演指導・演出	風太郎	通年	新沢地区公民館（橿原市）
やんちゃんこ劇団 上演指導・演出	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	通年	中央北生涯学習プラザほか （尼崎市）
コトリ会議 客員	原 竹志	通年	
豊岡市新任職員研修 講師	本田千恵子 中川義文	4. 4. 5	豊岡市健康福祉施設
【新規】西宮市立西宮高等学校 文化祭演劇指導 講師	木之下由香	4. 4. 18	西宮市立西宮高等学校
関西学院大学 非常勤講師	本田千恵子	4. 4. 18 、 4. 25	関西学院大学
キング醸造(株)新入職員研修 講師	本田千恵子	4. 4. 19	キング醸造(株)（稲美町）
兵庫県立夢野台高校教育・心理類型 表現力育成向上ワークショップ 特別非常勤講師	菅原ゆうき 三坂賢二郎	4. 4. 25 、 12. 15、19、 5. 3. 2	県立夢野台高校
【新規】兵庫県立西宮北高校 3年生文化祭演劇指導講師	山田 裕 吉江麻樹	4. 4. 25 、 5. 9、30、 6. 4	県立西宮北高校

兵庫県立神戸鈴蘭台高校 3年生文化祭演劇指導講師	島守辰明 吉江麻樹 今井佐知子 山田 裕	4. 4. 26 、 6. 3	県立神戸鈴蘭台高校
西宮市立西宮東高校 文化祭上演指導講師	島守辰明 本田千恵子 亀井妙子 今井佐知子	4. 4. 27 、 5. 25、 6. 1、11	西宮市立西宮東高校
関西学院大学 非常勤講師	島守辰明	4. 5. 2、9、 16、23	関西学院大学
池田市立五月山児童文化センター子どもたちの ためのパントマイム 講座講師	菅原ゆうき	4. 5. 14 、 6. 18、7. 16	池田市立五月山児童文化センター
【あつまれピッコロひろば】 養父市立建屋小学校演劇ワークショップ 講師	孫高宏 吉江麻樹	4. 5. 16 、 6. 20	養父市立建屋小学校
兵庫県立鳴尾高校 3年生文化祭演劇指導 講師	山田 裕 杏華	4. 5. 23 、 31、6. 6、15	県立鳴尾高校
兵庫県立神崎高校コミュニケーション 能力育成研修 講師	本田千恵子	4. 6. 7	県立神崎高校
関西学院大学教員養成のための 未来塾 講師	本田千恵子	4. 6. 8、15	関西学院大学聖和キャン パスキャリアセンター
県立教育研修所 令和4年度高等学校 初任者研修校外研修 講師	本田千恵子 菅原ゆうき	4. 6. 9、16	県立教育研修所
【新規】近畿大学文学部芸術学科舞台芸術専攻卒業 公演「天保十二年のシェイクスピア」観劇後指導 非常勤講師	亀井妙子	4. 5. 27 、 8. 12	近畿大学
ピッコロ実技教室 まわしよみ新聞&演劇ワー クショップ〈壁新聞を演じてみる〉講師	本田千恵子 今井佐知子	4. 8. 2	ピッコロシアター 小ホール
兵庫県自治研修所 行政特別研修 講師	本田千恵子 今井佐知子	4. 8. 3	オンライン実施
【新規】大阪府高等学校演劇連 盟 演劇講習会 講師	島守辰明	4. 8. 5	大阪府立咲くやこの花高校
【新規】【あつまれピッコロひ ろば】 夢コネクト 演劇ワークショップ 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	4. 8. 10	芦屋市立青少年センター
エデュケーションワークショップ2022 D I Eコース i n 関西 アシスタント	本田千恵子	4. 8. 16 ～ 18	ピッコロシアター 中ホール
日本劇団協議会やってみよう プロジェクト「にほんごであそ ぼう」 講師	本田千恵子 菅原ゆうき 杏華 木之下由香	4. 9. 18	小野市うるおい交流館エクラ
	本田千恵子 菅原ゆうき 杏華 木之下由香	4. 12. 11	加東市役所
	本田千恵子 菅原ゆうき 木村美憂	5. 1. 14、15	小野市うるおい交流館エクラ
	本田千恵子 菅原ゆうき 木村美憂	5. 3. 12	小野市うるおい交流館エクラ

【新規】2022年度北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部研修事業日本語・日本語教育研修会2022「演劇による文化的対話ー日本語学習を超えて」 講師	本田千恵子	4. 9. 27	北海道大学
【あつまれピッコロひろば】養父市立建屋小学校上演指導 講師	孫 高宏 吉江麻樹	4. 10. 11、 17、31	養父市立建屋小学校
【新規】【あつまれピッコロひろば】 尼崎市立下坂部小学校演劇ワークショップ 講師	山田 裕 車 貴玲	4. 10. 11、 18	尼崎市立下坂部小学校
【新規】神戸大学附属中等教育学校 上演指導 講師	島守辰明 木之下由香 鈴木あぐり	4. 10. 18、 11. 22	神戸大学附属中等教育学校
兵庫県立こどもの館 兵庫県児童館連絡協議会児童厚生員等研修会 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	4. 10. 20	西宮市立青少年勤労ホーム
京田辺シュタイナー学校 2022年度教員養成講座 講師	本田千恵子	4. 10. 30、 5. 3. 19、26	京田辺シュタイナー学校
神戸松蔭女子学院大学教育実習 講師	本田千恵子	4. 10. 31	神戸松蔭女子学院大学
【あつまれピッコロひろば】西脇市立比延小学校演劇ワークショップ 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	4. 11. 11	西脇市立比延小学校
新国立劇場演劇研修所 講師	島守辰明	4. 11. 12、 12. 2～21	新国立劇場演劇研修所
【新規】【あつまれピッコロひろば】加東市立三草小学校 演劇ワークショップ・上演指導 講師	原 竹志 鈴木あぐり	4. 11. 14	加東市立三草小学校
【新規】高等学校演劇コンクール大阪府大会 審査員	島守辰明	4. 11. 19、 20	門真市民文化会館 ルミエールホール
【新規】長久手市文化の家 文化と地域デザイン講座「障がい者に、いかに演劇を届けるか？」 講師	菅原ゆうき	4. 11. 20	長久手市文化の家（愛知県）
【新規】静岡文化芸術大学「文化施設の管理と運営」 講師	本田千恵子	4. 12. 2	静岡文化芸術大学
県立神出学園ワークショップ 講師	山田 裕 菅原ゆうき	4. 12. 12	県立神出学園
【新規】愛知県芸術劇場劇場職員セミナー「アーティストと考える多文化共生 劇場ができること！」 講師	本田千恵子	5. 1. 18	愛知芸術文化センター
【新規】兵庫県福祉部ユニバーサル推進課「障害者の舞台芸術鑑賞への合理的配慮に関する研修」 講師	菅原ゆうき	5. 2. 3	宝塚大劇場
【新規】冬のA-LAB GO+「演劇を体験してみよう」 講師	菅原ゆうき	5. 2. 26	武庫東生涯学習プラザ(尼崎市)
		5. 3. 11	立花南生涯学習プラザ(尼崎市)
【新規】【あつまれ！ピッコロひろば】尼崎市文化振興財団演劇ワークショップ 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	5. 2. 28	百合学院小学校（尼崎市）
兵庫県立伊丹北高校文化祭上演事前指導 講師	山田 裕 吉江麻樹	5. 3. 16	県立伊丹北高校

【新規】県立尼崎稲園高校 演劇ワークショップ 講師	亀井妙子 本田千恵子 檜村千晶 菅原ゆうき 森 万紀 杏華 三坂賢二郎 木村美憂	5. 3. 17	県立尼崎稲園高校
大阪府咲くやこの花高校と神奈川総合高等学校 との交流会ワークショップ 講師	木村美憂	5. 3. 27	大阪府立咲くやこの花高校

(3) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出などに劇団員を派遣した。

事業等名	劇団員	実施 年月日	開催場所
【新規】やんちゃんこ劇団 朗読劇 出演	風太郎 岡田 力	4. 4. 1	立花南生涯学習プラザ
【新規】ひょうご県友会神戸支部 20 周年記念事業 健康劇「なかまと一緒に、フレイル予防」台本・演出・出演	本田千恵子 杏華	4. 5. 31	パルテホール（神戸市）
「日本の劇」戯曲賞 2022 第一次選考 審査員	眞山直則 島守辰明	4. 7～8	(公社) 日本劇団協議会（東京都）
【新規】ひょうごプレミアム芸術デー特別イベント「演劇公演の舞台裏を見てみよう！～舞台制作の流れと舞台技術を体験～」出演	本田千恵子 平井久美子 橘 義 菅原ゆうき	4. 7. 12	ピッコロシアター 大ホール
【新規】3軒茶屋婦人会第7回公演「アユタヤの墮天使」方言監修	森 万紀	4. 8. 4 ～9. 3(上演)	東京芸術劇場 近鉄アート館 ほか
【新規】神戸ドラマ倶楽部 第26回公演「ブンナよ、木からおりてこい」演出	中川義文	4. 8. 6、7	神戸アートビレッジセンター KAVC ホール
【新規】尼崎北警察署・やんちゃんこ劇団「特殊詐欺防止劇場」(啓発動画) 企画・演出・音楽	風太郎 吉江麻樹	4. 8. 24 (撮影)	ピッコロシアター 小ホール
ニットキャップシアター 第40回公演「カレーと村民」出演	亀井妙子	4. 8. 24 ～29	こまばアゴラ劇場（東京都）
ピッコロシアター鑑賞劇場「生演奏で紙芝居 グッドガール シンシア」出演	吉江麻樹	4. 9. 3	ピッコロシアター 小ホール
フェニックス共済 街頭キャンペーン 出演	浜崎大介	4. 9. 4	デュオドーム（神戸市）
【新規】コトリ会議「全部あったかいものは」出演	原 竹志	4. 9. 14～21	こまばアゴラ劇場（東京都）
		4. 10. 7～9	江原河畔劇場（豊岡市）
西北活性化協議会 第15回 LALALA にしきたミュージシャンコンテスト 2022 公開予選 司会	本田千恵子	4. 10. 9	西宮市大学交流センター
		4. 10. 16	阪急西宮ガーデンズ内
【新規】おはなし会 BOX Vol.1 出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	4. 11. 12	ピッコロシアター 小ホール
【新規】コトリ会議 「みはるかす、くもへい線の」出演	原 竹志	4. 12. 2～4	伊丹市立演劇ホール AI・HALL
【新規】「飛んで 孫悟空」関連企画プレイイベント「知っとこ西遊記！」出演・舞台監督	平井久美子 風太郎 吉江麻樹 今井佐知子 有川理沙 政香里沙	4. 12. 3	ピッコロシアター 大ホール

【新規】西北活性化協議会に起きたクリスマス with モーツァルト司会	木村美憂	4. 12. 4	県立芸術文化センター
「飛んで 孫悟空」関連企画 おはなし会 出演	平井久美子 風太郎 吉江麻樹 有川理沙	4. 12. 11	尼崎市立北図書館
【新規】兵庫県立芸術文化センター公演入場者「800 万人」達成記念 セレモニー 司会	本田千恵子	4. 12. 31	県立芸術文化センター
【新規】横尾忠則現代美術館「満 満腹満腹」展 会場内効果音 出演	今井佐知子 野秋裕香	5. 1. 28 ～5. 7	横尾忠則現代美術館 (神戸市)
【新規】松竹株式会社「歌う シャイロック」 出演	車 貴玲	5. 2. 9～21 5. 2. 2～27 5. 3. 1～26	南座 (京都市) 博多座 (福岡市) サンシャイン劇場 (東京都)
やんちゃんこ劇団 第 3 回公演「頭 上に爆弾 手には花」(Bombs above the head Flowers in the hands) 作・演出・音楽・上演指導	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	5. 2. 26	立花南生涯学習プラザ (尼崎市)
【新規】【あつまれ！ピッコ ロひろば】【市町ホール公演】 おはなし BOX 企画・演出・出演	風太郎 吉江麻樹 橋 義 有川理沙	5. 3. 12	上郡町生涯学習支援センター
		5. 3. 21	赤穂市民会館赤穂化成ハーモ ニーホール

(メディア出演)

○テレビ出演

- ・NHK BSプレミアム「決戦！源平の戦い」岡田 力
- ・NHK よるドラ「あなたのブツがここに」山田 裕
- ・NHK 歴史探偵「情報戦 関ヶ原」岡田 力
- ・NHK 連続テレビ小説「舞いあがれ！」岡田 力、山田 裕、今仲ひろし
- ・NHK FMシアター「ことばの刃」三坂賢二郎
- ・NHK BSプレミアム「決戦！関ヶ原Ⅱ大名たちの野望」岡田 力

○映画出演

- ・原 竹志 「嘘八百 なにわ夢の陣」
- ・風太郎 「Sin Clock」
- ・山田 裕 Prime Video 映画「湯道」アナザーストーリー “湯道への道”

○CM出演

- ・原 竹志 「エディオン」(WEB)
- ・山田 裕 「小さなお葬式」(TV)、「ヒガシマル」(ラジオ)
- ・岡田 力 「カーネクスト」(TV (ナレーション))
- ・今仲ひろし「みお綜合法律事務所」(ラジオ)
- ・菅原ゆうき「ネクスコ西日本」(ラジオ)

(4) ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成8年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施した。

【会員数(口数)】 法人会員・個人会員計 349 口 (R5. 3. 31 現在)

【情報誌の発行】 年4回発行 (A5版、20ページ)、約10,000部発行

【会員向け事業】 ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など。また、会員共通特典として、ピッコロシアター自主事業の1割引、優先予約など。

3 人材育成・体験活動事業

(1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校（本科 昭和 58 年開設、研究科 昭和 59 年開設）、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校（平成 4 年開設）を運営している。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動リーダー、文化施設スタッフ等の養成を継続した。

区 分	ピッコロ演劇学校		ピッコロ舞台技術学校
概 要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につけるなど、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成		クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期 間	4. 4. 22～5. 3. 5（本科、研究科）		4. 4. 22～5. 3. 5（音響、照明、美術）
場 所	ピッコロシアター		ピッコロシアター、 県立芸術文化センター（特別授業）
授 業	原則、毎週 2 回（火・木の夜間）		原則、毎週 2 回（水・金の夜間）
講 師	■本科 ▶主任講師 山田 裕（※） 助手 菅原ゆうき（※） 他 ■研究科 ▶主任講師 島守辰明（※） 助手 堀江勇氣（※） 他		■美術コース ▶主任講師 加藤登美子（舞台美術家） ■照明コース ▶主任講師 水野雅彦（舞台照明家） ■音響コース ▶主任講師 林 哲郎（サウンドデザイナー代表）
特別講師	平田オリザ 岩松 了 鐘下辰男 他		山北史郎 服部 基 堀尾幸男
生 徒	本科 入学 18 名 修了 15 名	研究科 入学 25 名 修了 21 名	入学 24 名 修了 22 名 〔美術 8 名、照明 9 名、音響 5 名〕

※はピッコロ劇団員

【特別講義】

区 分	期 日	特 別 講 師	講義テーマ
演劇学校	4. 5. 22	平田オリザ(劇作家・演出家)	演劇を学ぶとは
	4. 7. 23 ～7. 24	岩松 了(劇作家、演出家、俳優)	演劇的なことばについて
	5. 1. 28 ～1. 29	鐘下辰男(劇作家・演出家)	戯曲研究
舞台技術学校	4. 7. 9 ～7. 10	山北史郎(サウンドデザイナー)	音響効果の基礎
	4. 10. 8 ～10. 9	服部 基(舞台照明家)	舞台照明を考える
	4. 12. 17 ～12. 18	堀尾幸男(舞台美術家)	舞台美術のはじまり

【中間発表会 2022 Piccolo Passo～小さな一歩～】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数 (人)
演劇学校本科 39 期生	4. 10. 29	「写真～5つのオムニバス」	37
	4. 10. 30		48
演劇学校研究 科 38 期生	4. 11. 5	「新天地へ～ある移民の物語」	37
	4. 11. 6		41

【オープンキャンパス】

区 分	期 日	概 要	参加者数 (人)
舞台技術学校	4. 12. 24	学校説明、オペレーション体験、バックステージツアー	17
演劇学校	5. 1. 15	学校説明、現役学校生と一緒に身体訓練等の授業体験	26

【卒業公演（大ホール）】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数 (人)
演劇学校 本科 39 期生 舞台技術学校 30 期生	5. 3. 4～5	演目「夏の夜の夢 本科 39 期版」 作＝W. シェイクスピア 訳＝松岡和子 潤色・演出＝山田 裕（※） 出演 ＝演劇学校本科 39 期生 15 名 美術プラン・製作・操作 ＝舞台技術学校生美術コース 8 名 照明プラン・操作 ＝舞台技術学校生照明コース 9 名 音響プラン・編集・操作 ＝舞台技術学校生音響コース 5 名	450
演劇学校 研究科 38 期生		演目「新天地へ～ある移民の物語～」 台本・演出＝島守辰明（※） 出演＝演劇学校研究科 38 期生 21 名	

※はピッコロ劇団員

（２）ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

令和４年度のピッコロ演劇学校生及び舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となる者及びピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者に贈呈した。

対 象 者	備 考
演劇学校本科 (39 期生) 演劇学校研究科 (38 期生) 舞台技術学校 (30 期生) 各 1 名計 3 名	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年 3 月に創設。 その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。
風太郎 檜村 千晶 ピッコロ劇団員 2 名	

（３）ピッコロシアター文化セミナー

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を推進した。

(大ホール)

事 業 名	期 日	出演者等	入場者 (人)
<101> 渋谷天外さんに聞く 「上方喜劇の魅力」	4. 6. 9	出演＝渋谷天外 （俳優、松竹新喜劇代表） 聞き手＝亀岡典子 （産経新聞社文化部編集委員）	286

(4) ピッコロシアター文化セミナーラボ

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催した。

(小ホール)

事業名	期 日	出演者等	入場者 (人)
「今、チェーホフがカッコいい!」	4. 6. 23	島守辰明 (ピッコロ劇団) 松本 修 (MODE/演出家)	36
「直観読みブックマーカー ～別役実編」	4. 12. 4	陸奥 賢 (直観読みブックマーカー考案者) 今井佐知子 (ピッコロ劇団)	14
「クルト・ヴァイルの音楽世界 ～「三文オペラ」の仕掛け～」	5. 1. 21	大田美佐子 (神戸大学大学院准教授) 松本 修 (MODE/演出家)	65

(5) ひょうごプレミアム芸術デー

特別イベント「演劇公演の舞台裏を見てみよう!」～舞台制作の流れと舞台技術を体験～
7月12日(火)11:00～/14:00～ [参加者 68人]

- ・劇団員によるファミリー劇場「飛んで孫悟空」ができあがるまでの裏話
- ・プロのテノール歌手とピアニストの演奏に合わせた音響・照明効果の体験

(6) 研修生等の受け入れ (4年度実績)

開かれた劇場として、インターンシップをはじめとした研修生(中学生、高校生、大学生、教職員等)を、年間を通して内外から受け入れた。

《4年度の受入状況》

- ・教員初任者研修(1名)、県立芸術文化観光専門職大学研修(3名)、インターンシップ(12名)、トライやるウィーク(16名)
- ・劇場見学: 尼崎市立上坂部小学校2年生100名、尼崎七松幼稚園年中組33名、大阪公立大学大学院都市経営研究科20名

(7) ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図った。

区分	事業名	期 日	出演者(指導者)等	参加者 (人)
伝統 芸能	ちゃっと! 狂言～入門編～	4. 8. 20、 21	大蔵流狂言方 善竹隆司・善竹隆平	22
演 劇	まわしよみ新聞&演劇ワークショップ(壁新聞を演じてみよう)	4. 8. 2	陸奥 賢(まわしよみ新聞考案者、モブ・デザイナー) 本田千恵子(ピッコロ劇団員)	20
	演劇ワークショップ「40歳からのワンコイン演劇講座」	4. 8. 7	大手前大准教授 瀬口昌生 (元ピッコロ劇団員)	22
オ ペ ラ	オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所との連携企画			
	「ピッコロオペラ教室」 オペラの楽しみ方	4. 8. 26	関西二期会副理事長 小餅谷哲男	76
	関西二期会オペラ研修所修了公演 演目「コジ・ファン・トゥッテ」	4. 8. 27	関西二期会オペラ研修所 第58期生 ほか	141

4 地域の関係機関との連携

(1) 尼崎市ティーンズサポート事業への参加

尼崎市が市内外の10代の青少年の舞台鑑賞を支援するため、低廉な入場料(500円)で鑑賞機会を提供する「ティーンズサポート事業」に協力(19名)

(2) 日興油脂の劇場招待事業

日興油脂株式会社(尼崎市)の支援を得て、こども食堂を利用している地元尼崎市内の子どもたちをピッコロ劇団ファミリー劇場へ招待(77名観劇)

(3) 兵庫県阪神南県民センターの劇場招待事業など

- ・「青少年文化スポーツ体験事業」による招待
ピッコロ劇団ファミリー劇場(12月)に親子ペアを招待(50組100名観劇)
- ・「阪神地域オープンミュージアム無料開放DAY」への参加
阪神地域(7市1町)の美術館・博物館等が常設展を中心に無料開放するイベント(10月7日～9日)に協力参加、ピッコロ劇団員が人形劇等を上演。(親子など15組30名観劇)

(4) やってみようプロジェクト(文化庁・日本劇団協議会事業)等の協力参加

- ・地域団体(市／地域国際交流協会)が実施する地域在住の外国人等を対象としたやさしい日本語を使ったコミュニケーションワークショップ「にほんごであそぼう」(ピッコロ劇団員がファシリテーター)を開催。
 - ※ 小野市国際交流協会・小野市うるおい交流館エクラとの連携で開催
(3回:計141名参加(うち外国人104名))
 - ※ 加東市・加東市国際交流協会との連携で開催(1回:30名参加(うち外国人22名))
- ・エデュケーションワークショップ「DIEコース in 関西」をピッコロシアターが共催し、ピッコロ劇団員がアシスタント講師として参加(9名参加)

5 コロナ禍による新たな取組—動画配信—

令和2年度から開始した動画配信を継続するとともに、令和4年度には3件配信した。

区 分	内 容
ピッコロ劇団公演第71回公演 「いないものだけ手に入る」	劇団公演初のアーカイブ配信を実施 (配信期間: R3. 10. 28～R4. 4. 30)
【新規】文化セミナーラボ 「今、チェーホフがカッコいい!」	島守辰明(ピッコロ劇団) 松本 修(MODE/演出家)
【新規】文化セミナーラボ 「 Kult・ヴァイルの音楽世界～「三文オペラ」の仕掛け～」	大田美佐子(神戸大学大学院准教授) 松本 修(MODE/演出家)

6 施設の管理運営事業

(1) 劇場施設の利用状況

「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)」の指定管理者として、鑑賞劇場等の自主事業を実施するとともに施設の適切な管理と運営を行う。また、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民にホールや練習室等を広く提供している。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号	
【施設】 大ホール(客席数396席)／中ホール(収容200人)／小ホール(収容100人) 楽屋(6室)／練習室(3室)／資料室(閲覧室・書庫)／舞台美術工房 等	
【ホール等利用実績(4年度)】	
利用者数	76,849人(前年度同期 58,300人)
利用率	89.5%(前年度同期 84.0%)

【利用状況】

区 分	利用者数（人）		利用率（％）	
	3 年度	4 年度	3 年度	4 年度
大ホール	27,181	36,906	86.8	89.5
中ホール	10,596	14,699	84.7	89.0
小ホール	11,235	14,646	85.1	92.6
練習室	8,086	9,242	82.4	88.6
閲覧室（R3.1～）	1,031	1,099	—	—
書庫（R3.1～）	171	257	—	—
計	58,300	76,849	84.0	89.5

（注）展示室及び資料室は令和元～2年度の大規模改修工事により閲覧室及び書庫にリニューアル。閲覧室及び書庫は令和3年1月より供用開始。

【利用料収入】

区 分		利用料収入（円、税込）	
		3 年度	4 年度
ホ ー ル 等	大ホール	5,658,300	6,360,160
	中ホール	1,566,600	1,645,555
	小ホール	1,885,950	2,548,500
	楽屋	801,150	805,120
	練習室	1,697,200	1,875,500
	ホール等計	11,609,200	13,234,835
附属設備		5,407,550	6,243,800
合 計		17,016,750	19,478,635

（参考）近年実施した主な施設改修

《R4 年度》

- ・大ホール客席誘導灯修繕工事
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新
- ・中ホールスピーカー更新工事
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理
- ・外部2階エントランス等防水工事
- ・ホール天井照明のLED化

《H29～R3 年度》

- ・動画配信のためのWi-Fi整備（各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場）（R3）
- ・ホールのロスナイ（換気システム）の改修（R3）
- ・別館稽古場への換気設備改修（R2）
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置（R2）
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備（R1-2）
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上（R1-2）
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備（R1）
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置（H29-R1）

(2) 情報の提供・発信

① 演劇等舞台芸術関係資料の提供

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、令和元年度に整備したピッコロシアター資料室（閲覧室・書庫）において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行うとともに、照会にも対応している。

【新・資料室（閲覧室・書庫）について】

- ・開室時間：10:00～18:00（資料の閲覧請求・貸出受付時間：13:00～17:00）
- ・1人3冊、2週間まで貸出
- ・蔵書検索システム（スマホ対応）・閲覧室内の検索システム端末などで資料を検索
《蔵書検索へのアクセス》<https://piccolo-library.opac.jp>
- ・閲覧室で自由に閲覧可能
- ・閲覧室には、高校演劇などの台本を設置（開架式）

	3年度	4年度
閲覧状況	296名	299名
貸出状況	221冊	151冊

② ピッコロ・ホームページの運営

主催事業や劇団公演等をタイムリーに発信した。

【アクセス数】

3年度	4年度
100,451件	104,999件

③ SNSの活用

劇場や演劇学校の日々の動きや公演に向けた劇団員の稽古風景等を発信した。

- ・ツイッター フォロワー数 1,258人（R5.3.31時点）
- ・フェイスブック フォロワー数 906人（R5.3.31時点）

④ 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」（年4回、各2,000～3,000部程度）を発行し、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配付した。

⑤ 芸術文化情報コーナー

館内の2箇所に芸術文化情報コーナーを設置し、県内外施設の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架することで来館者に情報提供した。

⑥ 広報媒体を通じた発信

- ・定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュール等に応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施した。
- ・地元FM局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
FM尼崎「ピッコロ通信」毎月第1・3土曜
「こちら、阪神南県民センターです」（約2カ月に1回、劇場の事業紹介）
FM宝塚「ピッコロ劇団公演情報」毎月第2月曜

〔劇団公演等にかかる記者会見、主な個別取材の状況など〕

劇団公演関係	メディア・掲載日など
「月光のつゝしみ」	〈個別取材〉神戸新聞（3/16）
「三人姉妹」	〈記者会見〉6/23 中ホール 〈個別取材〉7/14 読売新聞 6/30:朝日新聞、7/6:神戸新聞、 7/7:産経新聞、7/11:読売新聞、 7/14:朝日新聞

「から騒ぎ」	〈記者会見〉9/15 小ホール 9/30:神戸新聞、10/1:産経新聞、 10/3:読売新聞、9/22:毎日新聞
「飛んで 孫悟空」	〈個別取材〉9/3 毎日新聞 〈個別取材〉11/29 ラジオ関西 〈個別取材〉12/6 神戸新聞 12/11:神戸新聞
「三文オペラ」	〈記者会見〉1/12 中ホール 〈個別取材〉1/11 朝日ファミリー 〈個別取材〉1/25 読売新聞 2/5:神戸新聞、2/9:産経新聞

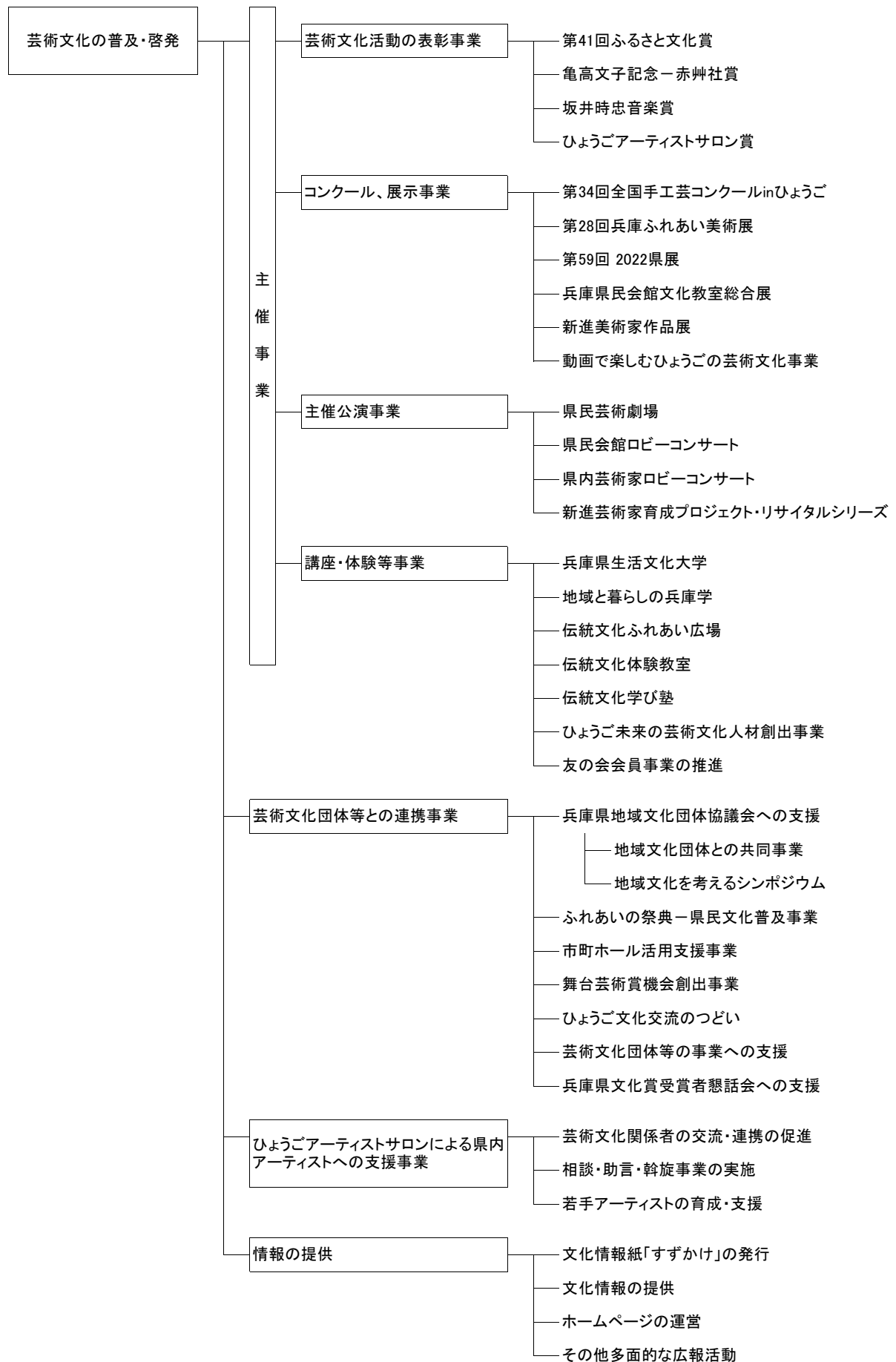
劇場事業関係	メディア・掲載日
舞台技術学校	〈個別取材〉9/3 毎日新聞
演劇学校・舞台技術学校入学式	5/16:兵庫ジャーナル
枝雀一門「桂文之助の会」	〈個別取材〉7/12 毎日新聞 7/28:毎日新聞、7/29:神戸新聞
紙芝居「グッドガール シンシア」	〈個別取材〉7/12 毎日新聞 8/23:毎日新聞、9/4:毎日新聞
文学座公演「欲望という名の電車」	〈記者会見〉9/12 大阪市内 10/6:毎日新聞、10/6:産経新聞、 10/14:神戸新聞
2022 年度「日本アートマネジメント学会賞」受賞	1/15:神戸新聞

劇団員インタビュー、ピッコロ劇団に係る論評など ※():劇団員等関係者	掲載新聞
第 24 回関西現代演劇俳優賞 (三坂賢二郎)	4/6:神戸新聞
第 24 回関西現代演劇俳優賞 (金田萌果、三坂賢二郎)	月刊 WING HOT PRESS(2022 4 月増刊号)
「脚気にしやがれ！」劇評	5/3:大阪日日新聞、テアトロ (5 月号)
「三人姉妹」(島守辰明)	MEG (6 月号)
鑑賞サポート (古川知可子、菅原ゆうき)	6/27:聖教新聞
国境なき劇団	7/16:神戸新聞
「月光のつゝしみ」劇評	8/26:Act32、テアトロ (7 月号)
「三人姉妹」劇評	8/29:読売新聞、テアトロ (8 月号)
「から騒ぎ」(喜志哲雄、鶴山 仁)	WEB ステージナタリー (10 月)
「から騒ぎ」劇評	テアトロ (10 月号)
「にほんごであそぼう」(田窪哲旨)	「Join」日本劇団協議会 (11 月)
「ふるさとたきのや物語 (養父市)」(劇団員指導)	11/4:神戸新聞
演劇ワークショップ	11/18:神戸新聞
尼崎北警察署・市民劇団やんちゃんこ特殊詐欺防止動画制作 (劇団員指導)	11/24:神戸新聞
「にほんごであそぼう (小野市)」	1/20:神戸新聞
演劇で広げるコミュニケーション (平井久美子)	アサヒファミリーニュース (2 月号)
「日本アートマネジメント学会賞」(古川知可子)	アートマネジメント研究 (第 23 号)
ピッコロ劇団×松本修×関西俳優陣「三文オペラ」	3/16:関西演劇サイト
第 25 回関西現代演劇俳優賞 (樫村千晶)	4/15:神戸新聞

7 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

喫茶スペースの貸出

令和4年度 公益財団法人兵庫県芸術文化協会本部 事業体系表



〔本部の事業（概要）〕

芸術文化の普及・啓発

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

県の芸術文化の高揚を図るため、将来の活躍が期待される音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念―赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した個人・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施した。

（２）コンクール、展示事業

県民の創作活動を後押し、世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進めるため、広く県民を対象とした「兵庫ふれあい美術展」等の公募展を開催した。新進美術家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の美術作品を鑑賞できる場として、県民アートギャラリー等において「作品展」を開催した。

（３）主催公演事業

子どもから大人まで優れた舞台芸術を身近で鑑賞でき、県内芸術団体等への活動機会を提供するため、小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施した（56 公演）。また、新進音楽家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の舞台芸術を鑑賞できる場として、県民会館のほか県内文化施設等においてロビーコンサート、リサイタル等を開催した。

（４）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため、県立美術館、博物館、芸術文化団体等と連携・協力し、「兵庫県生活文化大学」を開催し、歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を提供した（通年講座：8 講座、短期講座：6 講座）。伝統文化の普及・継承を図るため、子どもから大人まで幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化ふれあい広場」「伝統文化体験教室」「伝統文化学び塾」を実施した。

2 芸術文化団体等との連携事業

地域文化の向上・振興を図るため、7つの地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、各地域の特色を活かした事業の推進を支援した。各種イベント等を通じて県下に芸術文化のすそ野を広げるため、様々なジャンルの県域芸術文化団体や地域文化団体、市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典―県民文化普及事業」を展開した（25 事業）。

県民の舞台芸術鑑賞機会を拡大するため、大型共同企画を支援する「市町ホール活用支援事業」、児童・生徒・学生が無料で鑑賞できるよう公演経費を支援する「舞台芸術鑑賞機会創出事業」を実施した。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」を県民会館に置き、芸術文化関係者の交流・連携、相談や情報発信等の機能を担わせた。新進・若手アーティストを対象とした美術作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催、アーティストサロン賞の贈呈などを行った。

4 情報の提供

県民の芸術文化への関心を高め参加を促すため、協会や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」の毎月発行、ホームページや SNS を活用して県内アーティスト・団体の活動等の動画配信やイベント情報の発信などを行った。

〔本部の事業（評価）〕

1 主催事業

（１）「坂井時忠音楽賞」、「亀高文子記念一赤艸社賞」は、音楽や美術関係者からの評価は高く、アーティストが目指す賞として定着しており、受賞者にとって今後の大きな励みとなっている。「ふるさと文化賞」では、受賞者の活動等を広く発信でき、継続的に活動に取り組む意欲を高めている。

（２）「兵庫ふれあい美術展」については、県委託料の減に伴い出品料の増額をやむを得ず行ったが、出品者数は前年度並み（約 400 点）を維持できた。出品者の年齢層は 15 歳から 92 歳までと幅が広く、プロとアマ、世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進めることができた。県民会館において、年間を通じて「新進美術家作品展」等を開催し、作家にとって貴重な発表の場となるとともに、県民が気軽に美術鑑賞できる場としても定着している。

（３）「県民芸術劇場」については、開催希望はコロナ禍前の約 8 割に回復したが、県予算の減により公演数が減（R3：68 公演、R4：56 公演）となった。今後、必要予算の確保を県に要請しながら、学校公演をはじめニーズに十分に対応できるよう努めていく。県民会館ほか県内文化施設等で、若手音楽家等によるコンサート、リサイタルを開催（計 28 公演）し、減少した活動機会の拡大とともに、県民が気軽に舞台芸術に触れる機会をつくることができた。

（４）「兵庫県生活文化大学」については、計画した通年 8 講座を開催することができ、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した受講者数も一定の回復があった（R3：312 人、R4：341 人）。講師には、第一線で活躍する研究者・実務者を依頼しており、「最新の研修成果が学べる」「分かりやすく楽しい」など好評を得ている。

新型コロナウイルス感染症により、令和元年度から 3 年度まで休止した「伝統文化ふれあい広場（旧名称「伝統文化体験フェスティバル」）は規模を縮小して実施した。「伝統文化体験教室」および「伝統文化学び塾」（令和 4 年度から協会自主）を、参加定員を縮小して実施し、初めて体験する方々から「敷居が高かった伝統文化を身近に感じることができた」「今後鑑賞する際に、より深く楽しめそうだ」など好評を得ている。

2 芸術文化団体等との連携事業

「ふれあい文化の祭典ー県民文化普及事業」は、新型コロナウイルス感染症等により 3 事業が中止となったが、個々の事業では、県域又は地域の芸術文化団体、市町等の連携により、地域の文化振興や交流の拡大につながり、9 割以上の参加者から高い満足度が得られた。

「市町ホール活用支援事業」は、各ホール間の連携を促進し、企画力の向上につながっている。「舞台芸術鑑賞機会創出事業」では、「助成を受けられたので若い世代を招待できた」といった声も寄せられ、若者の鑑賞機会の拡大とともに県内アーティストの活動機会の創出に役立っている。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

芸術文化コーディネーターを中心にネットワークをつくり、多様な分野の芸術文化関係者が交流・連携ができる場として機能している。発表の場としての展覧会・リサイタル等の企画・実施、ひょうごアーティストサロン賞の贈呈等は、新進・若手アーティストの育成や活動意欲の向上につながっている。県民会館でのロビーコンサート（無料）を毎月開催し、小さな子ども連れなども気兼ねなく鑑賞できると喜ばれている。

4 情報の提供

情報紙「すずかけ」は紙面を印象的で読みやすくリニューアルした。また、チラシ等の印刷媒体、ホームページや SNS など多様な方法を用いて、より多くの県民に情報が届くよう情報発信力の向上に努めてきた。さらにアーティストの活動動画配信の充実、印刷媒体への二次元コード掲載など、コンテンツの充実や利便性を向上させていく。

〔本部の事業（詳細）〕

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

① 第４１回ふるさと文化賞

地域社会において、永年にわたりひたむきな努力を続け、伝統文化の継承に貢献するなど、その活動と功績が著しい２個人１団体に贈呈した。

【贈呈式】 令和５年２月６日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 吉田 太郎 (神戸人形製作・神戸市)
長田 和美 (日本舞踊・たつの市)
鶴岡太神楽保存会 (郷土芸能・豊岡市)

② 亀高文子記念^{せきそうしや}赤艸社賞

絵画の創作活動を通じて県民文化の高揚に功績があった女流洋画家に贈呈した。

【贈呈式】 令和５年３月９日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 堀尾 昭子（神戸市）

③ 坂井時忠音楽賞

県内において音楽活動に優れた業績をあげ、将来の活躍が期待される音楽家を奨励するため贈呈した。

【贈呈式】 令和５年３月９日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 山中 歩夢（ピアノ・神戸市）

④ ひょうごアーティストサロン賞（アーティストサロン事業）

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手アーティスト及びサロンの企画・運営に協力いただいた団体に贈呈した。

【贈呈式】 令和５年３月１日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 〈アーティスト部門〉 根垣 りの（ヴァイオリン・京都市）
山内 瑤子（チェロ・大阪府池田市）
〈協力者部門〉 兵庫県いけばな協会（神戸市）

（２）コンクール、展示事業

① 第３４回全国手工芸コンクール in ひょうご

女性を対象とし、ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から公募し、優秀な作品に文部科学大臣賞、知事賞等を贈呈した。

【会 期】 令和４年１１月１１日～１３日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【出品数】 １８９点

【入場者】 １，１２４人

② 第２８回兵庫ふれあい美術展

県内の美術愛好家から日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・鈴懸の径絵画（洋画または日本画の小品。テーマあり）作品を公募し、全ての応募作品を展示するとともに、優秀な作品に知事賞等を贈呈した。

【会 期】 令和４年１２月２３日～２５日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【出品数】 403点
【入場者】 880人

③ 第59回2022県展

県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象に、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、入選作品の展示を行い、優秀な作品には県展大賞等を贈呈した。

【会 期】 令和4年8月6日～20日
【会 場】 原田の森ギャラリー
【応募数】 512点（入選作品202点）
【入場者】 3,024人
【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

④ 兵庫県民会館文化教室総合展【中止】

兵庫県民会館で実施されている、美術・書道等さまざまなジャンルの文化教室の作品を一堂に展示し、受講生の交流や発表の場として計画していたが、新型コロナウイルス感染症により中止した。

⑤ 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催した。

・ひょうごアーティストサロン内

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫二紀会選抜展	4. 4. 1～5. 31	2	234
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	4. 6. 2～7. 30	8	175
兵庫県美術家同盟新進作家展	4. 8. 1～9. 30	7	125
兵庫の工芸 壁面を飾る	4. 10. 1～11. 29	4	148
兵庫県書作家協会選抜展	4. 12. 1～5. 1. 31	6	287
兵庫県日本画家連盟選抜展	5.2.2～3.31	6	398
合 計	250日	33	1,367

・兵庫県民アートギャラリー特別展示室

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫県書作家協会 日常の書展	4. 11. 16～20	43	507
兵庫県美術家同盟 俊英展	5. 2. 8～12	16	685
合 計	10日	59	1,192

・兵庫県民アートギャラリー大展示室

事業名	開催年月日	出展人数（人）	入場者（人）
兵庫県美術作家交流展 選抜作家展	4. 12. 7～11	18	555

⑥ 動画で楽しむひょうごの芸術文化事業

県内の新進・若手アーティスト等による芸術活動の動画を作成し、当協会のYouTubeチャンネル上で配信することで、県民の芸術文化鑑賞機会とアーティストの発表の場の拡大を図った。

【出演者】 兵庫県芸術奨励賞受賞者2人
【配信件数】 2件

(3) 主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催した

種 別		4年度		協会支出額(千円)	
公演ジャンル		公演数	入 場 者 数	4 年 度	3 年 度
一般公演		5	1, 622	4,133	10,030
音 楽		5	1, 622		
高等学校公演		11	6, 835	4,579	6,638
演 劇		5	3, 375		
音 楽		5	2, 955		
ミュージカル		1	505		
小学校公演		40	17, 304	8,375	8,174
音 楽		24	10, 429		
舞 踊		2	536		
演 劇		9	3, 229		
ミュージカル		2	784		
伝統芸能		3	2, 326		
合 計		56	25, 761	17, 087	24, 842

中学校公演は、全ての県内中学生を対象に「わくわくオーケストラ教室」等を実施していることから、県民芸術劇場の対象外。

② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティスト等のコンサートを開催し、活動発表の場を提供した。また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを添えて芸術文化に親しむ環境の充実を図った。

公 演 名	開催年月日	いけばな	入場者(人)
藤田菜央ピアノコンサート	4. 4. 9	松井博士(小原流)	70
小塩真愛ピアノコンサート	4. 5. 14	内藤貴風(光風流)	55
吉田侑記ヴァイオリンコンサート	4. 6. 11	管香風(嵯峨御流)	72
栗田麻子ピアノコンサート	4. 7. 9	本井里絵甫(未生流中山文甫会)	95
竹嶋夕琳ピアノコンサート	4. 8. 20	加藤美千代(池坊)	65
県立西宮高等学校音楽科コンサート	4. 9. 17	西村翠雲(佳生流)	77
前田紗希ソプラノコンサート	4. 10. 8	矢野翠里(真生流)	55
小原彩乃ハープコンサート	4. 11. 12	松井博士(小原流)	70
柏原雅ソプラノコンサート	4. 12. 10	佐伯一甫(未生流(庵家))	98
菅田真弓ピアノコンサート	5. 1. 14	松井博士(小原流)	55
志賀俊亮ピアノコンサート	5. 2. 11	伊藤洸明(御室流)	81
神戸山手女子高等学校音楽科 センブリーチェ・コンサート	5. 3. 11	岡島眞草(草月流)	78
1 2 公演			871

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

新型コロナウイルス感染症により、公演等の中止が相次ぎ、県内の新進・若手アーティストの活動の場が大幅に減少していることから、会場を県民会館から県

内の芸術文化施設等に広げて実施した。

公 演 名	開催年月日	出演者	入場者 (人)
アクリエひめじメインスタジオ 山中歩夢のおしゃべりコンサート	4. 7. 11	山中歩夢(ピアノ)	58
西宮市山口センター1階ロビー 西田仁ジャズピアノコンサート	4. 8. 4	西田仁(ジャズピアノ) 原満章(コントラバス)	53
新湊川ふれあい会館 新湊川ふれあいコンサート	4. 10. 17	小松加奈(マリンバ) 稲川はるか(マリンバ)	42
養父公民館 やぶ文化祭ロビーコンサート	4. 10. 22	田中利奈(フルート) 中嶋緑(ピアノ)	45
世良美術館 1階サロン 神戸東灘アートマンス特別 コンサート	4. 10. 29	木村モモ(ギター)	52
こうこはくロビーコンサート 風薫る春のしらべ	5. 3. 19	春本亜美(フルート) 加門祐香里(ピアノ)	112
合 計 6公演			362

④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ (アーティストサロン事業)

兵庫県民会館けんみんホールを利用し、「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」を開催した。

あわせて兵庫県いけばな協会の協力により舞台にいけばなを添えて鑑賞者に対して芸術文化に親しむ環境の充実を図った。

事業実施にあたっては、出演者にリサイタルの企画から実施までのマネジメントを自ら経験させ、今後演奏家としての実務に役立てられるよう支援を行った。

公 演 名	開催年月日	いけばな	入場者 (人)
大森花ソプラノリサイタル	4. 5. 6	大木数甫 (未生流) ＊	81
根垣りのヴァイオリンリサイタル	4. 5. 27	富士聡子(華精流)	135
田中正也ピアノリサイタル	4. 6. 17	成瀬香泉(知香流)	105
西尾岳史バリトンリサイタル	4. 7. 8	本井里絵甫(未生流 中山文甫会)	202
高橋奈王子能楽公演 【コロナにより中止】	4. 8. 26	—	—
名田綾子 ピアノリサイタル	4. 9. 29	熊原恵甫(未生真流)	171
塚本芙美香ピアノリサイタル	4. 10. 14	梶山恵甫(未生流)	89
鳥居大輔ピアノリサイタル 【出演者都合により中止】	4. 12. 23	—	—
北村萌マリンバリサイタル	5. 1. 27	漣 徳甫(未生流)	109
池内響バリトンリサイタル	5. 2. 17	名倉庄司(池坊)	98
加茂夏来ヴァイオリンリサイタル	5. 3. 3	橋本智月(嵯峨御流)	81
周防彩子ソプラノリサイタル	5. 3. 20	伊藤洸明(御室流)	174
12公演 ⇒10公演			1, 245

注 ＊は、リサイタル日程が変更したため、当初予定の4月22日に兵庫県民会館ロビーで展示

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに夢と潤いのある生活文化を創り育てるため、県立美術館、歴史博物館、考古博物館等に講師を依頼するなど、県や芸術文化団体と連携しながら最新の研究成果が学べる講座として、兵庫県生活文化大学を開催した。

【通年講座】

講 座 名		開催地	会 場	期間(回数)	受講者(人)
神戸校	文化財	神戸市	兵庫県民会館 ほか	4～2月 (10)	28
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月 (10)	39
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 (10)	45
	日本美術			4～1月 (10→7) *	31
	ふるさとの歴史			4～2月 (10)	42
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			5～3月 (10)	65
明石校	ふるさとの歴史 (明石市)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月 (10)	52
姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	日本城郭研究センターほか	4～2月 (10)	39
合 計		8 講座		80 回⇒77 回	341

※講座名欄の()は共催団体等 *講師都合により3回減

【短期講座】

講 座 名	開催地	会 場	期間(回数)	受講者(人)
湊川隧道特別見学会	神戸市	湊川隧道	6月 (1)	47
展覧会特別鑑賞講座 関西の 80 年代展～	神戸市	兵庫県立美術館 「芸術の館」	6月 (1)	27
伝統芸能講座 落語の世界 「染殿寄席」	尼崎市 西宮市	天台宗道心寺、 兵庫県立芸術文 化センター	8～9月(2)	9
展覧会特別鑑賞講座 ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者 たちの物語	神戸市	兵庫県立美術館 「芸術の館」	10 月 (1)	33
兵庫津ミュージアム特別鑑 賞講座	神戸市	兵庫津ミ ュ ー ジ ア ム	12 月 (1)	35
展覧会特別鑑賞講座 恐竜図鑑―失われた世界の 想像／創造	神戸市	兵庫県立美術館 「芸術の館」	3月 (1)	19
合 計 6 講座			7回	170

② 地域と暮らしの兵庫学

田辺真人 園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、兵庫県の風土が生み出した独自の地域文化や生活文化の中から、古くから伝わる伝説や歳時記、伝承行事の様式の考察を交えて改めて歴史的に県域を考える講座を開催した。

【開催日】 令和4年9月～令和5年1月 (3回)

【会 場】 兵庫県民会館 けんみんホール

【講 師】 田辺 真人氏（園田学園女子大学名誉教授）

【参加者数】 179人

③ 伝統文化ふれあい広場

伝統文化の新たな担い手を発掘するため、県域文化団体等の協力を得て、幅広い層の県民が様々な伝統文化を一堂に体験する機会を提供した。

【開催日】 令和5年3月4日～5日

【会 場】 兵庫県公館

【内 容】 体験講座、舞台での実演、展示

【参加者数】 498人

④ 伝統文化体験教室

関係文化団体等との共催で、体験教室を開催することにより、県民が伝統文化に触れる機会を提供した。

【時 期】 令和4年7月～令和5年2月

【回 数】 9回

【会 場】 兵庫県公館和風会議室

【参加団体】 兵庫県いけばな協会ほか5団体

教室名・回数	団 体 名	参加者(人)
いけばなのススメ(4)	兵庫県いけばな協会	73
日舞のススメ(1)	兵庫県舞踊文化協会	6
長唄のススメ(1)	松耀会	8
須磨琴のススメ(1)	一絃須磨琴保存会	6
三味線のススメ(1)	日本民謡民舞兵庫県連合会	8
能楽のススメ(1)	公益社団法人能楽協会神戸支部	6
合計 6分野(9回)		107

⑤ 伝統文化学び塾

伝統文化への関心を高め、学び続ける人を養成するため、箏を7回にわたって学び、発表会まで行うコースを開催した。

【開催日】 稽 古：令和4年7月～8月 発表会/8月

【会 場】 稽 古：兵庫県公館和風会議室

発表会：県立芸術文化センター阪急中ホール

(ひょうご邦楽の祭典のプログラムとして)

【参加者数】 7人

⑥ ひょうご未来の芸術文化人材創出事業

アーティストが県内の中学校・高校に出向き、吹奏楽部員に対して打楽器や金管楽器等の実演やレッスンを行った。

【件 数】 8件18回

【場 所】 県内の中学校5校、高校1校

【受講者数】 のべ246人

⑦ 友の会会員事業の推進

芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいくつくりと相互の交流を図るため、友の会会員を対象とした事業を推進した。

	個人会員	ファミリー会員	団体会員
友の会会費	1口 3,000円	1口 5,000円	1口 10,000円
会 員 数	580人	76人(38組)	52団体

- 【特典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）
- ・研修事業への参加・生活文化大学等の受講料等の割引
 - ・指定美術館・博物館等の入館料割引
 - ・提携ホールのチケット料金やホテルの利用料金等の優待

（ア）研修事業の実施

県内の人文・自然資源、文化史跡等を訪ね、先人が育んできた歴史・芸術文化にふれ、そのすばらしさを学んだ。

【ふるさとウォーク】

事業名	開催年月日	場所	参加者(人)
埴岡真弓先生と歩く一網干を訪ねてー	4. 10. 5	姫路市	19
計 1 事業（1 回）			19

（イ）文化情報紙「すずかけ」の送付

友の会会員に対して毎月、文化情報紙「すずかけ」を送付し、情報を提供した。

2 芸術文化団体等との連携事業

（１）兵庫県地域文化団体協議会への支援

地域文化の向上と振興に貢献することを目的とする兵庫県地域文化団体協議会の事務局を担当し、県内7地域で活動する地域文化団体との連携を深めた。

【兵庫県地域文化団体協議会構成団体】

- ・阪神南文化振興団体連絡協議会
- ・阪神北文化振興団体連絡協議会
- ・東播磨文化団体連合会
- ・西播磨文化協会連絡協議会
- ・但馬文化協会
- ・丹波文化団体協議会
- ・淡路文化団体連絡協議会
- ・公益財団法人兵庫県芸術文化協会

① 地域文化団体との共同事業＊

兵庫県地域文化団体協議会が、各地域において地域の核となる文化団体協議会等と共同で文化事業を実施した。

文化団体名	事業名	開催年月日等
阪神南文化振興団体連絡協議会	第27回アルカディア盲導犬とともに音楽を愛でる会コンサート	4. 5. 28 (会場:アルカディア・グレースホール(芦屋市))
阪神北文化振興団体連絡協議会	阪神北文化フェスタ	4. 11. 13 (会場:宝塚市立中央公民館)
東播磨文化団体連合会	東播磨文芸誌「東はりま文化子午線第46号」の発行	5年3月発行
西播磨文化協会連絡協議会	西播磨地域ふれあい文化交流会	4. 10. 4 (会場:赤穂市民会館 他)
但馬文化協会	「一短詩型文学ーたじま作品集第47集」の発行	5年3月発行
丹波文化団体協議会	丹波地域文化フェスティバル	4. 8. 5 (会場:丹波の森公苑)

文化団体名	事業名	開催年月日等
淡路文化団体連絡協議会	淡路文化の祭りとふるさと文化の交流 第41回全淡短歌祭 第46回淡路島俳句大会 第44回淡路文学作品展	4. 7. 31 4. 11. 13 4. 11. 25～12. 6 (会場:洲本市立淡路文化史料館他)

② 地域文化を考えるシンポジウム

地域文化の活性化を図るため、淡路地域に県内市町文化協会・団体の会員が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行った。

【開催日】 令和4年11月25日

【会場】 洲本市文化体育館(しばえもん座)

【主催】 淡路文化団体連絡協議会、兵庫県地域文化団体協議会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

【テーマ】 くにうみの島淡路の歴史と新しい地域文化の創造

【内容】 「淡路のええとこ魅せまSHOW」と題し、第1部は映像と語りで、第2部は演奏とお話して淡路の多彩な魅力を披露

【参加者】 県内各地文化関係者361人

(2) ふれあいの祭典ー県民文化普及事業 *

県内全域に文化のすそ野を拡大していくため、県域文化団体、開催市町とともに実行委員会を立ち上げ、広報宣伝・観客誘致等を行った。

事業名	開催年月日	会場	参加者(人)
丹波地域文化フェスティバル	4. 8. 5	丹波市	347
ひょうご合唱の祭典	4. 8. 21	加東市	339
ひょうご演劇祭	4. 8. 27	西宮市	217
ひょうご邦楽の祭典	4. 8. 28	西宮市	381
西播磨地域文化フェスティバル①	4. 9. 3～9	たつの市	553
ひょうご日本民謡フェスティバル	4. 9. 18	神戸市	380
アンサンブル・フェスティバル兵庫	4. 9. 18	西宮市	357
ひょうご民俗芸能祭	4. 9. 23	播磨町	302
兵庫県交響楽祭	4. 10. 2	丹波篠山市	900
ひょうご名流舞踊の会	4. 10. 2	神戸市	1, 324
詩のフェスタひょうご	4. 10. 2	神戸市	93
ひょうご大茶会	4. 10. 16	神戸市	337
兵庫県いけばな展(神戸展)	4. 10. 17 ～22	神戸市	6, 924
ひょうご吟剣詩舞道祭	4. 10. 30	姫路市	900
ひょうご洋舞フェスティバル	4. 11. 5	西宮市	986
全国手工芸コンクール in ひょうご	4. 11. 11 ～13	神戸市	1, 365
兵庫県いけばな展(地域展)	4. 11. 12 ～13	神戸市	1, 119
阪神北文化フェスタ	4. 11. 13	宝塚市	191

兵庫短歌祭	4. 11. 19	佐用町	143
和太鼓フェスティバル in 兵庫	4. 11. 20	養父市	528
東播磨地域文化フェスティバル①	4. 11. 23	加東市	584
ひょうご俳句フェスティバル	表彰式中止	—	1, 331
西播磨地域文化フェスティバル②	4. 12. 4	宍粟市	322
兵庫ふれあい美術展	4. 12. 24 ～26	神戸市	1, 322
東播磨地域文化フェスティバル②	4. 2. 17 ～19	加古川市	963
兵庫県川柳祭	コロナ感染影響により中止		
音楽とダンスの祭典 in Hyogo	コロナ感染影響により中止		
ひょうごブラスフェスティバル	台風の影響により中止		
合計			22, 208

(3) 市町ホール活用支援事業

市町ホールの活性化、県内公立文化施設間の連携強化を図るため、2市町のホールが音楽や演劇等の大型自主公演を共同で企画する事業を支援した。

(単位:千円)

公 演 名	開催年月日	会 場	参加者(人)	助成額
立川志らく独演会	4. 6. 4	加東市地域交流センター	190	1,374
	4. 9. 10	太子町立文化会館	379	
Sings ジブリ	4. 6. 11	田園交響ホール	677	2,000
	4. 6. 12	赤とんぼ文化ホール	852	
こどもオペラ「星の王子さま」	4. 9. 10	加古川ウェルネスパーク	198	650
	4. 9. 11	淡路市立しづかホール	182	
合 計			2, 478	4,024

(4) 舞台芸術鑑賞機会創出事業

新型コロナウイルス感染症により減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内の若手アーティストの活動機会を提供するため、県内文化施設等において実施される音楽・演劇等で、一定数の座席を児童・生徒・学生（小、中、高校、大学生等）向けに無料とする公演の経費を支援した。

【助成件数】 33件

【助成内容】 クラシックバレエ、マリンバコンサート、県内落語家による名人寄席 等

【助成金額】 13, 356千円（助成率1／2・上限500千円）

【鑑賞者数】 8, 701人

【うち無料】 2, 215人

(5) ひょうご文化交流のつどい *

県域文化団体等の協賛のもと、様々な分野の文化関係者が一堂に集い、交流・親睦を深める事業であるが、令和2年度、3年度に続いて、新型コロナウイルス感染症により中止した。

(6) 芸術文化団体等の事業への支援

芸術文化団体等が主催する文化振興事業に対し、後援、協賛するとともに、優秀作品に「兵庫県芸術文化協会賞」を贈った。

【後援事業件数】 226件

【協会賞交付件数】 65件

(7) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者の事務局運営等を支援し、芸術文化の振興を図った。

注) *印の3事業は「正味財産増減計算書内訳表」の収益事業等会計に分類されるもののうち「その他の事業（芸術文化団体との連携事業）」に区分される事業

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用され、交流の拠点としてサロン機能を発揮した。

【来場者数】 3,018人

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する企画・PR方法等、様々な相談に応じた。

【相談件数】 239件

【さわやかステージ斡旋件数】 15件

(3) 若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② 県民会館ロビーコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイクルシリーズ（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

生活文化大学をはじめとする当協会主催事業や芸術文化団体主催事業など、芸術文化に関する情報を発信した。

【仕様】 タブロイド版、4ページ、外面2色刷り

【発行】 毎月1回 各5,000部

【内容】

- ・生活文化大学やリサイクル等の主催事業、県内の芸術文化事業
- ・芸術文化センター事業、ピッコロシアター事業
- ・友の会（おすすめスポット）たずね歩き
- 友の会の特典提携をしている文化施設とその周辺施設を紹介
- ・各種文化情報

(2) 文化情報の提供

兵庫県民会館に、文化情報紙、県内施設等の催し物案内チラシ等を配架し、多彩な文化情報を提供した。

(3) ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

協会概要や本部事業、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介した。

【内 容】・協会概要

・事業案内（協会主催事業等）

・管理施設へのリンク

【アクセス数】 76, 289件（令和4年4月～令和5年3月）

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

兵庫県に関係の深い新進・若手アーティスト等の発表の場の創出と鑑賞機会の提供を目的として、YouTube チャンネルにおいて、アーティストの動画作品 118 本及び県民芸術劇場登録団体 P R 動画 76 本を配信した。Twitter、Facebook、Instagram を活用して、兵庫県生活文化大学等の各種講座や展覧会、コンサート等のイベント情報等を発信した。

・YouTube チャンネル登録者数 3,032 人（R5.3.31 時点）

・Twitter フォロワー数 306 人（ ” ）

・Facebook フォロワー数 258 人（ ” ）

・Instagram フォロワー数 491 人（ ” ）

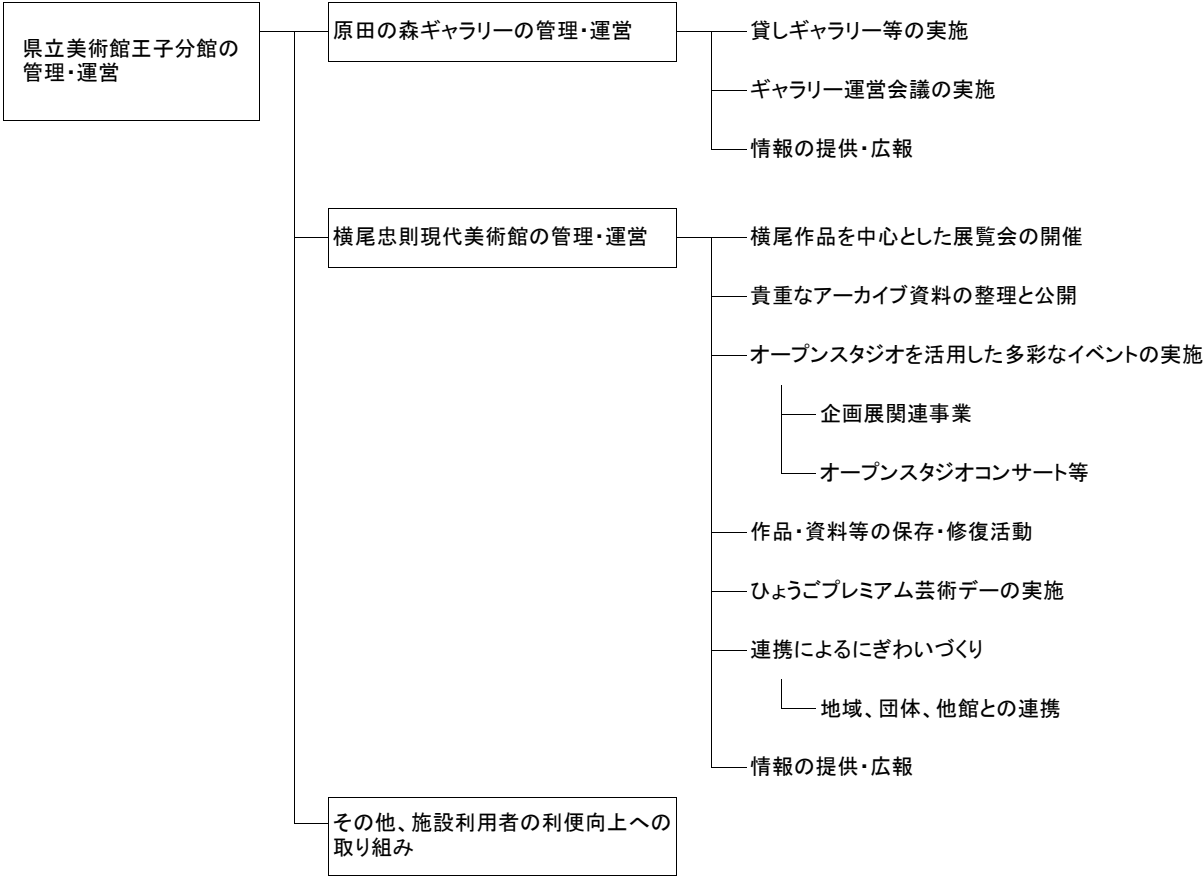
② マスメディア等による情報提供

・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配付など

③ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等事業を共催している施設と連携して P R したほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行った。

令和4年度 兵庫県立美術館王子分館 事業体系表



〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（１）貸しギャラリーの適正な運営

地域のプロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ、交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、ギャラリーの適正で、効率的な運営に努めた。

【来館者数】 131,533人 【展示室の利用率】 89.4%

（２）ギャラリーの利便性向上

建物構造が複雑で初めての人には分かりにくいとため、本館1階ロビーにタッチ式デジタルサイネージを新たに導入し、当日の催しや各室への行先案内等の情報提供や案内サインの見直しをするなど、施設利用時の利便性向上に努めた。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会

開館10周年を記念して、これまでの企画展をダイジェストで振り返る「満腹腹腹満腹」をはじめ3つの展覧会のほか、美術館4階に整備した「横尾忠則コレクションギャラリー」において、同氏所蔵の著名作家の作品を展示した。

【展覧会の入場者数】 35,140人 【来館者数】 57,675人

① Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道

（同時開催「YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part1」）

期 間：令和4年4月9日～7月18日（87日） 入場者数：11,165人

② 横尾さんのパレット

（同時開催「YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part2」）

期 間：令和4年8月6日～12月25日（122日） 入場者数：14,397人

③ 横尾忠則展 満腹腹腹満腹

期 間：令和5年1月28日～5月7日（86日） 入場者数：9,578人（3月末現在）

（２）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏から受け入れているデザイン原稿、書籍等のアーカイブ資料について、県内3大学から博物館実習生等を受入れながら整理を進め、順次「アーカイブ資料リスト」として公開した。（整理済 4,817点、ウェブ公開リスト 3,840点）

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会として、県が設定した「ひょうごプレミアム芸術デー」の一環として、次の取組を行った。

① 無料開放 7月12日～18日（7日間、入場者 2,942人）

② 「三田村管打団？」及び「テリー・ライリー」のライブ開催

（４）美術館の魅力や情報の発信

来館者の拡大に向けて、イベントの開催のほか、横尾作品の魅力や展覧会情報等について、さまざまな機会やツールを活用して発信に努めた。

〈主な取組〉

・オーpensスタジオコンサート（4回、参加 747人）

・キュレーターズ・トークと同動画のYouTube配信（参加・視聴 7,274人）

・SNS広告（Facebook, Instagram）による発信（ホームページ誘導 20,707回）

・神戸PRアンバサダー（在住外国人）の展覧会招待（SNS発信を期待）

〔県立美術館王子分館の管理・運営（評価）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（１）施設の利用状況

令和４年度のギャラリーの利用率、来館者数とともにコロナ前の水準までほぼ回復してきた。また、施設利用料収入は展示室、会議室、駐車場とも平成１４年オープン以来、過去最高の売上高となった。

（２）利用者からの評価

展示室利用者を対象としたアンケート調査では、「非常に満足」「満足」の合計は、職員の対応 98.4%、施設利用の満足度 100%であった。利用者からは「広く、明るく、落ち着いた雰囲気」「来場者にも喜ばれた」との声を多くいただいた。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会

令和４年度は、来館者数・入場者数ともにコロナ禍前の令和元年度の水準まで回復した。特に、開館10周年記念として実施した３本の企画展のいずれもが好評であったことから、展覧会の入場者数目標（３.５万人）を達成することができた。

また、横尾氏が収集し、同氏の創作に影響を与えた作品等を展示する「コレクションギャラリー」（令和２年度整備）が軌道に乗るとともに、これと同時に整備した「キュミラズム・トゥ・アオタニ」は、美術館の新たな魅力スポットとして人気を集めている。

（２）アーカイブ資料等の活用

整理した資料は、当館での展示のほか、外部の美術館関係者や研究者等の依頼に応じて閲覧に供するとともに、ギンザ・グラフィック・ギャラリー（令和５年度開催：「横尾忠則 銀座番外地」）に資料約４０箱を貸し出すなど有効活用された。

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

展覧会の無料開放には、通常の約３倍の入館者があり、横尾作品の魅力に触れていただく機会となった。また、「テリー・ライリー」ライブの参加者募集には多くの反響があり、横尾美術館を全国へ発信することができた。

（４）美術館の魅力や情報の発信

従来からのポスター等の広報やイベントに加え、新型コロナを契機に始めた「キュレーターズ・トーク」のYouTube発信やSNS広告により、美術館及び展覧会の魅力をより広く発信できたことが、展覧会の入場者数の増加に一定の効果があったと考えられる。

今後は、2025大阪関西万博を見据え、全国や海外からの来館者を獲得するため、SNS等の活用による効率的、広範囲への情報発信が重要になってくる。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館において展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信や情報収集を行った。また、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家の発表の場としての役割を果たすよう管理・運営に努めた。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室）、東館（1・2階展示室）、会議室等（5室）

〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、コレクションギャラリー、休憩・交流スペース
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、インフォメーション

〈喫茶棟〉

〈附属駐車場〉 31台

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施

公立美術館としては全国最大規模となる貸しギャラリーや実技教室を活用した洋画・日本画・書道・彫塑等の作品発表、並びに絵画教室等が開催されたとともに、造形芸術の活動・交流・情報発信拠点づくり及び創作活動の発表の場づくりに努めた。

【来館者数】 131,533人

【利用状況】 (単位：日、%又は台、()内対前年比)

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率
展示室	4室	1,224	1,094 (115.9%)	89.4 (111.1%)
会議室等	5室	1,530	993 (112.7%)	65.0 (108.2%)
駐車場	31台	306	306 (104.4%)	16,034台 (110.2%)

【利用料収入状況】 (単位：円、税込)

区 分	金 額 ()内対前年比	区 分	金 額 ()内対前年比
展示室	23,379,800 (107.4%)	附属設備	501,225 (99.7%)
会議室等	5,931,150 (114.6%)	駐車場	8,309,400 (111.5%)
収蔵庫	6,227,100 (104.8%)	利便施設	520,939 (100.0%)
		合 計	44,869,614 (108.5%)

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議を開催し、貸出計画案の承認を得た。令和4年度については、令和5年4月から令和7年3月までの利用調整のため、3回の運営会議を開催した。

- ・第1回運営会議 令和4年6月8日
- ・第2回運営会議 令和4年9月21日
- ・第3回運営会議 令和5年2月17日

（3）情報の提供・広報

① ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp/harada>)

【内 容】施設概要、利用案内、空室情報、展覧会案内 等

② 催し物案内の配布

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

横尾忠則氏の優れた作品等について広く鑑賞する機会を提供するため、横尾作品を中心とする展覧会を開催した。令和4年度は、開館10周年記念として3本の展覧会に加え、美術館4階に整備した「横尾忠則コレクションギャラリー」において、横尾氏が収集し、影響を受けた世界の著名作家の作品を展示した。

【展覧会の入場者数】35,140人 【来館者数】57,675人

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催（令和5年3月末現在）

展覧会名	開館10周年記念 Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道
開催期間（日数）	令和4年4月9日～7月18日（87日）
入場者数（人）	11,165人
内有料入場者数	6,259人（有料入場率：56.1%）
展示内容	横尾忠則の最新作「寒山拾得」シリーズを紹介。近年患っている難聴と手の腱鞘炎の症状により、横尾の絵は自らが「朦朧体」と呼ぶように線の揺らぎと色彩の重なりの特徴がある。画業40年にしてたどり着いたこのスタイルは、実はこれまでに横尾が何度も試みてきたものだった。本展では、新作と過去作を合わせて展示し、その共通点を探ることで横尾が繰り返し試しては追い求めてきた絵づくりについて考察した。 【出品点数：約70点】

展覧会名	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part1
開催期間（日数）	同上
展示内容	横尾がコレクションをしたマン・レイ（1890-1976）の作品（女性の写真シリーズ）とあわせて、横尾によるマン・レイをモチーフにした作品もあわせて展示した。【出品点数：約30点】

展覧会名	開館10周年記念 横尾さんのパレット
開催期間（日数）	令和4年8月6日～12月25日（122日）
入場者数（人）	14,397人
内有料入場者数	10,886人（有料入場率：75.6%）
展示内容	横尾作品の特徴である鮮やかな色彩に着目した展覧会。絵画作品をテーマや様式から解放して色で分類し、展示室をパレットに見立てたインスタレーションでヨコオワールドを再構築した。また、使用済みのパレットや公開制作で使用した絵具など、作品が生まれる背景も合わせて展示した。【出品点数：約120点】

展覧会名	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part2
開催期間（日数）	同上
展示内容	トム・ウェッセルマン、ジャスパー・ジョーンズ、アンディ・ウォーホル、フランシス・ピカビア、ジョルジョ・デ・キリコなど、横尾が収集した版画やポスターを展示。 【出品点数：約16点】

展 覧 会 名	開館 10 周年記念 横尾忠則展 満満腹腹満腹
開催期間（日数）	令和 5 年 1 月 28 日～5 月 7 日（86 日）
入 場 者 数（人）	9,578 人
内 有 料 入 場 者 数	7,518 人（有料入場率：78.5%）
展 示 内 容	これまでに開催した企画展をダイジェストで振り返る展覧会。10 年前の開館記念展「反反復復反復」のセルフ・パロディーでもある本展では、限られた展示空間に、これまで開催された 29 本の展覧会を限界まで詰め込むことを試みた。そこに立ち現れるカオス的な空間は、85 歳を過ぎてもおなお精力的に制作し続ける横尾の、尽きることのないエネルギーを象徴するものとなった。 【出品点数：約 260 点】

（２）貴重なアーカイブ資料の整理と公開

横尾氏から寄託されたイラストやポスター、デザイン原稿はじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品などのアーカイブ資料について、順次、整理・公開した。また、資料整理をより円滑に行うため、博学連携として、県内の大学から博物館実習生やインターン生を受け入れた。

① 整 理

（ア）整理済み資料 4,817 点（うちウェブサイト公開の資料リスト 3,840 点）

＊ 個人情報を含んだ資料等を除いたリストを公開

（イ）実習生等の受入れ

- ・博物館実習生：甲南大学 11 名、甲南女子大学 4 名、神戸芸術工科大学 2 名
- ・インターン生：神戸芸術工科大学 2 名

② 公開等

（ア）整理済み資料については閲覧可能（無料、要予約、個人への貸出不可）

- ・これまでの利用実績：97 件（美術館関係者、研究者、学生等）

（イ）企画展等での展示

（３）オープンスタジオを活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

楽しく鑑賞できるよう見どころを学芸員が分かりやすく解説するキュレーターズ・トークを展覧会ごとに実施した。また、来館を促し集客につなげるため、各展覧会の PR 動画やキュレーターズ・トークの映像をホームページで公開した。

〔Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道〕（令和 5 年 3 月末現在）

事 業 名	開催日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R4. 4. 30 5. 28 6. 25	当館学芸員	109 人
ギャラリートーク動画 (YouTube 配信等)	R4. 6. 3～	同 上	視聴数 1,879 回
PR 動画 (YouTube 配信等)	R4. 6. 3～	同 上	視聴数 177 回
計			2,165 人 (うちオンライン 2,056 人)

〔横尾さんのパレット〕

(令和5年3月末現在)

事業名	開催日	出演者・講師	参加者数
パレット的ギャラリーツアー	R4. 8. 27 9. 10 10. 8 12. 10	当館学芸員	81 人
PR 動画 (YouTube 配信等)	R4. 9. 18～	同 上	視聴数 787 回
ギャラリートーク動画 (YouTube 配信等)	R4. 9. 30～	同 上	視聴数 1,604 回
ギャラリートーク動画〈おまけ〉 (YouTube 配信等)	R4. 10. 15～	同 上	視聴数 350 回
計			2,822 人 (うちオンライン 2,741 人)

〔横尾忠則展 満腹腹満腹〕

(令和5年3月末現在)

事業名	開催日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R5. 2. 18 R5. 3. 18	当館学芸員	91 人
ギャラリートーク動画 (YouTube 配信等)	R5. 2. 24～	同 上	視聴数 2,073 回
ギャラリートーク動画〈おまけ〉 (YouTube 配信等)	R5. 2. 24～	同 上	視聴数 123 回
計			2,287 人 (うちオンライン 2,196 人)

② オープンスタジオコンサート等 (当館1階)

地域のにぎわいづくりと、当館の新たなファン層の拡大をめざし、令和4年度は、新たに始まった「ひょうごプレミアム芸術デー」特別イベントとしてミニマル・ミュージックの代表的作曲家であるテリー・ライリーのライブをはじめ、4つのコンサートを開催した。

イベント名	開催日	出演者	参加者数
地域連携イベント 三田村管打団？真夏のプレミアムライブ from 水道筋商店街 to 横尾忠則現代美術館	R4. 7. 16	三田村管打団？	パレード 300人 ライブ 125人
木5と金5 ～木管五重奏と金管五重奏のサウンドを一度に楽しめるコンサート～	R4. 9. 3	久保田裕美ほか	109人
Project 173 テリー・ライリーライブ @Y+TMOCA (ひょうごプレミアム芸術デー特別イベント)	R4. 11. 3	テリー・ライリー ほか	105人
播磨弦楽四重奏団 ショスタコーヴィッチ・チクルス vol.5	R5. 2. 4	播磨弦楽四重奏団	108人
計			747 人

(4) 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料を良好な状態で保存するため、劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努めた。保存・修復に際しては、作品のオリジナル性を熟慮したうえで作品の現状維持修復を原則に必要な最小限度の修復処置を心がけるとともに、電気製品を用いた作品やその他ミクストメディア作品については、各分野の専門家と協力し多角的な視点で修復に取り組んだ。

(5) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

令和4年度から芸術文化を気軽に楽しめる機会として、県立芸術文化施設を無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」が設定され、当館でも実施した。

期 間：令和4年7月12日～18日（7日間）

内 容：展覧会の無料開放（入場者数 2,942人）

特別イベント

・三田村管打団？真夏のプレミアムライブ（R4. 7. 16）

・Project173 テリー・ライリーライブ@Y+TMOCA（R4. 11. 3）

(6) 連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

(ア) 地域住民・商店街等との連携

- ・ポスター・チラシの配布
- ・灘区が地域住民と実施している「灘総合芸術祭」連絡調整会への参加
- ・「ひょうごプレミアム芸術デー」開催に合わせて水道筋商店街や王子動物園を巡るパレードと美術館でのライブ（「三田村管打団？」演奏）を実施。

(イ) 美かえるカラフルマルシェの開催

ミュージアムロード沿いの阪神電鉄、シマブンコーポレーション、地元商店、県立美術館と共催するアートを軸とした賑わいづくりイベント。（平成28年～）

3年ぶりの開催となる令和4年度は、ワークショップやステージショー、グルメ&物販等、家族が楽しめるイベント形式で開催。当館は、兵庫教育大学と連携し、産業活動から生じた余剰品を活用して仮装コスチュームを作るワークショップを実施した。

② 団体等との連携

日本自動車連盟（JAF）、コープこうべ等と団体割引提携を行い、会員等の来館促進を図った。（令和4年度実績／JAF：693人、コープこうべ657人）

③ 他館との連携

(ア) 周辺文化施設（神戸文学館、王子動物園、BBプラザ美術館、県立美術館 等）

- ・相互のポスター・チラシの掲示
- ・県立美術館とは、半券提示での相互割引を実施

(イ) 国内の美術館等

- ・横尾氏関連の美術館として広報連携 豊島横尾館、西脇市岡之山美術館
- ・作品、アーカイブ資料等の貸出
 - ギンザ・グラフィック・ギャラリー「横尾忠則 銀座番外地」展
 - 川崎市岡本太郎美術館ほか全国5会場「頭神の夢」展
 - 徳島県立文学書道館「寂聴 美のコレクション」展

(ウ) 海外の美術館等

令和4年度に上海当代芸術博物館で横尾氏の大規模個展が計画されていたが、新型コロナウイルスの影響により実現しなかった。

(7) 情報の提供・広報

『横尾芸術の一大拠点』、『様々な芸術に触れることのできる場』、『国内外の美術館等との連携』、『参加・体験型のミュージアム』といった当館の魅力を、様々な媒体により、幅広い層に伝えるとともに、ミュージアムロードをはじめとする地域との連携も図りながら、効果的な広報活動を展開。

① 展覧会毎の取組

- (ア) 知事定例記者会見での発表、記者説明会の開催
- (イ) 横尾氏がデザインしたチラシ・ポスター等の配布
- (ウ) 神戸街めぐり 1 day クーポンや神戸観光スマートパスポートでの販売（神戸観光局）や、オンラインでのチケット販売（楽天チケット、ソノリゴ）
- (エ) 交通広告（JR、阪急、山陽）の実施
- (オ) 三宮センター街へ展覧会 PR 用大型懸垂幕を設置
- (カ) 展覧会関連事業を通じた話題づくり（動画配信など）
- (キ) JR 三ノ宮駅交番北側に展覧会看板の掲出
- (ク) SNS 広告による発信 (Facebook/Instagram)

3 展覧会×各 1 週間、ホームページ誘導 20,707 回

② 年間を通じた取組

- (ア) マスメディアの活用
 - ・テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞・雑誌等
 - ・美術手帖タイアップ 広告「横尾忠則に聞く-横尾忠則現代美術館とは何か」掲載
- (イ) 県広報誌（県民だよりひょうご「文化の風」）、兵庫ジャーナル等
- (ウ) 館長によるトップセールス（講演会等における PR 等）
- (エ) 国際的な PR
 - ・県立美術館、BBプラザ美術館と共同での英語・中国語パンフレットの配布
 - ・英語字幕付きの YouTube 動画の制作・配信
 - ・神戸 PR アンバサダー（在住外国人）の展覧会招待及び参加者による SNS 発信
- (オ) インターネットによる情報発信（<https://www.ytmoca.jp>）
 - ・館ホームページ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム
 - ・フォロワー数約 35 万人を持つ横尾氏のツイッターとの連携
 - ・当館公式ユーチューブチャンネルを開設（R2 年 8 月～）
 - ギャラリートーク（字幕：日・英）や当館学芸員が美術館の仕事の概要を語る「Y+TMOCA の舞台裏」（字幕：日・英・中・韓）を配信
- (カ) 各種情報誌、フリーペーパー等への掲載
- (キ) 横尾氏の連載
 - ・週刊朝日「シン・老人のナイショ話」
 - ・月刊神戸っ子「神戸で始まって神戸で終る」

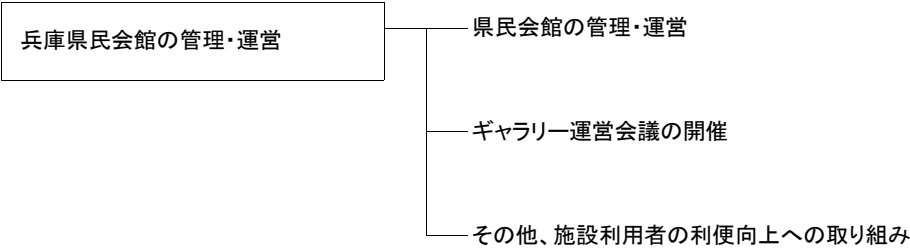
〔参考：掲載等の状況〕

	新聞	テレビ・ラジオ
Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道	特集記事（展評等）4 回 案内記事（開催情報等）23 回	3 回〔サンテレビ、 ラジオ関西等〕
横尾さんのパレット	特集記事（展評等）6 回 案内記事（開催情報等）19 回	6 回〔サンテレビ、 ラジオ関西等〕

3 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 31 台）
- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズショップのショップ設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置（2 台）

令和4年度 兵庫県民会館 事業体系表



〔兵庫県民会館の管理・運営（収益事業）〕

当協会は、平成18年度から6期18年にわたり兵庫県民会館の指定管理者として管理運営を担っており、広く県民にホール・会議室等の施設を提供するなか、運営経費のコスト削減、経営の合理化に努め、芸術文化に親しむ環境の更なる充実を図った。

当会館では、利用者の安全・安心を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し万全の対応を図るとともに、①ネット会議や配信事業での利用に向けた貸館部門の通信環境（LAN、Wi-Fi）の整備・向上、②パソコンやスマートフォンでギャラリーを歩くような感覚で展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk 360”の運用、③特別展示室の空き期間を活用した作品展示など、会館の利用拡大や賑わいづくりのための取り組みを行った。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】 パルテホール(収容144人)、けんみんホール(客席数360席)、会議室(18室)、集会室(3室)、宴会室(3室)、時間貸駐車場(36台)、月極車庫(44台)、団体事務室(23団体)、営業店舗(2業者)、アーティストサロン、兵庫県民アートギャラリー(4室)

1 利用状況等

【来館者数】 423,385人

【利用状況】 (単位：日、％又は台、()内対前年比)

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率
パルテホール	1室	355	229(146.8%)	64.5(139.6%)
けんみんホール	1室	355	252(133.3%)	71.0(127.0%)
会議室	18室	6,390	3,846(120.0%)	60.2(114.2%)
集会室(和室)	3室	1,065	501(100.2%)	47.0(95.3%)
宴会室	3室	1,065	670(132.4%)	62.9(126.1%)
アートギャラリー	4室	1,420	605(159.6%)	42.6(152.1%)
時間貸駐車場	37台	365	365(100.0%)	35,307台(113.1%)
月極車庫	44台	12ヵ月	12ヵ月	525台(99.8%)

【利用料収入状況】 (単位：円、税込)

施設名	金額()内対前年比	施設名	金額()内対前年比
パルテホール	21,476,860 (150.0%)	事務室及び倉庫	30,348,939 (101.2%)
けんみんホール	13,627,300 (152.3%)	利便施設	540,027 (106.8%)
会議室	29,950,100 (121.9%)	月極車庫	18,900,000 (99.8%)
集会室(和室)	1,801,900 (104.5%)	時間貸駐車場	29,460,000 (120.2%)
宴会室	11,556,250 (135.3%)	その他(附属設備)	208,920 (111.4%)
アートギャラリー	12,381,750 (156.6%)	合計	170,252,046 (121.5%)

2 ギャラリー運営会議の開催

公平・適正な利用を確保するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化や、新型コロナウイルス感染症の影響下での利用促進を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議(3回)を開催し、貸出計画案の承認を得た。

- ・第1回運営会議 令和4年5月18日
- ・第2回運営会議 令和4年9月21日
- ・第3回運営会議 令和5年2月17日

3 その他、施設利用者の利便向上への取り組み

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 36台、月極、収容台数 44台）
- ・喫茶等のスペースを貸出
- ・飲料自動販売機の設置（8台）
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売

〔県民会館の管理運営事業等 評価〕

1 利用状況等

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、集客施設の利用を手控える傾向が続き、利用に改善傾向が見えたが低調なまま年度末を迎えた。（会議室利用率 令和元 70.8%→②54.1%→③52.7%→④60.2%）

集客施設の利用や外出、催事の抑制・自粛ムードが続くなか、感染防止対策の徹底に加え、会議室等の通信環境（LAN、Wi-Fi）向上によるウェブ会議等の取り込みやバーチャルギャラリー“Walk 360”の本格運用、けんみんホールやロビーを活用した新進アーティストの活躍の場の設定など、新たな利用に繋がる取り組みにより、県民会館利用料収入は対前年度比 121.5%と前年度を上回ることができた。

（参考：利用料収入の対令和元年度比 91.5%）

2 施設・設備改修

県民会館は築 50 年以上が過ぎており、施設利用者に安全に安心して利用していただくため、施設・設備の改修やメンテナンスを適時適切に行なっている。また、県補正予算 2,139 千円を確保して非常用発電機の蓄電池更新やバルテホールの音響設備を改修するなど、館内の快適性・利便性の維持・向上に努めている。

【県民会館の指定管理】

当協会は、指定管理者制度が始まった平成 18 年度から指定管理者として県民会館の運営を安定的かつ効率的に行ってきており、毎年度実施している利用者アンケートでは、「職員・スタッフの対応」を 88%の人が満足と回答しており、管理・運営の各項目で、概ね良好な評価を得ている。（7 月と 3 月の 2 回実施）